Ver.4 調査回答ツール操作マニュアル

製品含有化学物質調査・回答マニュアル
[Ver.4 調査回答フォーマット対応]
2009.09.30 第 1.2 版＜JIG-101 Ed 2.0 対応版＞ による

2009 年 11 月 25 日 第 1.3 版

（ 調査回答ツール Ver.4.02 対応 ）

グリーン調達調査共通化協議会

JGPSSI
Japan Green Procurement Survey
Standardization Initiative

改訂履歴：

2009.07.27：新規作成 第 1 版（調査回答ツール Ver.4.00 対応）
2009.08.26：第 1.1 版の訂正内容：
1). 6.5 項の③の誤記訂正。
2). 6.5 項の⑥に、注）を追加。（濃度の自動計算に関する注意事項）
3). 6.6 項の二つ目の段落内の第二階層に戻るを、第一階層に戻る、に訂正。
4). 8.1 項の③の各項目番号の誤記訂正。
5). 8.3 項の③の各項目番号の誤記訂正。
6). 8.3 項の③に、5） 項を追加。（第二と第三階層の含有量一致チェック説明）
2009.09.30：第 1.2 版（調査回答ツール Ver.4.01 対応）
1). 含有判定（Y/N）使用用途分類の整合性チェック追加に伴う変更；
・6.4 項の③への追記。
・同上、7 物質群の使用用途分類の選択をラジオボタンに変更。
・8.1 項の③に 6）を追加。
・別表 4 および別表 5 の追加など。
2). 6.5 項の②の注 3）を削除し、注 4）を注 3）に繰り上げ。
3). 第三階層の重量濃度自動計算の実行条件の変更（6.5 項、⑥の注を訂正）
2009.11.25：第 1.3 版（調査回答ツール Ver.4.02 対応）
1). 1.⑥項の文言修正（ツール名称追記）。
2). 6.1.③項の注）を修正（上記を反映）。
3). 6.4.③項に注 2）を修正（ラジオボタン設定の物質群数を 7 から 4 に変更）。
4). 6.4.③項のラジオボタンの表示例をニッケルから酸化ベリリウムに変更。
5). 8.1.③項の注 4）の 4 番目の項目を削除（第 1.2 版での削除漏れ）。
6). 8.1.③.6)項に、注）を追加（整合性チェック対象外の物質群について）。
7). 別表 5 のラジオボタンの対象物質群を変更。整合性チェック対象外を追記。

目次

はじめに P.3
1. Ver.4 調査回答ツールの特徴 P.3
2. Ver.4 ツールのパソコン動作環境、対応バージョンなどについて P.4
3. Ver.4 ツールのダウンロード P.4
4. Ver.4 ツールの起動 P.5
4.1 マクロの設定とセキュリティー P.5
4.2 言語選択 P.8

5. 依頼元による調査依頼データ（JGP ファイル）の作成 P.9
5.1 基本情報の入力（第一階層） P.9
5.2 調査対象アイテムに関する情報の入力（第一階層） P.9
5.3 JGP ファイルの保存 (SAVE JGP) P.10
5.4 調査回答ツールの終了 P.11
5.5 JGP ファイルを調査回答元へ送る P.11

6. 回答元による回答データ（JGP ファイル）の作成 P.11
6.1 調査依頼元からのデータの読み込み (LOAD JGP) P.11
6.2 回答元が入力する項目 P.13
6.3 含有化学物質群の情報入力画面（第二階層）への遷移（移行） P.14
6.4 含有化学物質群情報の入力（第二階層） P.15
6.5 含有化学物質情報の入力（第三階層） P.20
6.6 エラーチェック 2 の実行（対象は第二階層および第三階層） P.22
6.7 入力した内容の調査回答フォーマットへの保存（SAVE JGP） P.23
6.8 調査回答ツールの終了 P.25
6.9 JGP ファイルを依頼元へ送る P.25

7. 旧フォーマットデータ（Ver3 の JGP ファイル）の読み込み P.26

8. エラーチェック関連ボタンの機能 P.27
8.1 エラーチェック 1（第一階層） P.27
8.2 エラー確認（〃） P.29
8.3 エラーチェック 2（第二階層） P.29
8.4 エラー確認（〃） P.30

9. その他の各種ボタンの機能 P.31
9.1 言語設定 P.31
9.2 Copy P.31
9.3 Clear P.32
9.4 昇順・降順 P.32
9.5 並べ替え P.33
9.6 ADD JGP P.33
9.7 見出し変更 P.34
9.8 部品一覧印刷 P.35
9.9 印刷 P.35
9.10-11 CANCEL P.35

別表 1.（第一階層のチェック内容一覧） P.36
別表 2.（第二階層のチェック内容一覧） P37
別表 3.（第三階層のチェク内容一覧） P37
別表 4. 含有判定 Y/N と使用用途分類の整合性一覧（4 重金属の物質群） P38
別表 5. 含有判定 Y/N と使用用途分類の整合性一覧（4 重金属以外の物質群） P40

はじめに

本調査回答ツール操作マニュアルは、【製品含有化学物質調査･回答マニュアル[Ver.4 調査回答フォーマット対応]】（以下「Ver.4 調査回答マニュアル」）を上位文書として、パソコンを使用した電子メールによる電子データの交換を前提に操作方法、データ入力方法を説明しています。
従って、Ver.4 調査回答ツールで画面表示されるフォーマットの各階層の調査項目と回答方法の説明については、必ず Ver.4 調査回答マニュアルを参照下さい。

注）：本ツールにはマクロによるプログラムが組み込まれています。又、入力対象以外のセルは保護されていますが、この保護解除およびプログラム変更は一切出来ませんので了承ください。

1. Ver.4 調査回答ツールの特徴

① ツールの種類：
Ver.4 調査回答ツール(以下「Ver.4 ツール」)は以下の一種類のみを設定しています。このツールで作成する JGP4 ファイル（以下「JGP ファイル」）の拡張子は、jgp4 です。
（回答形式は従来の Ver.3 調査回答ツールの標準型の考え方を踏襲しています。）

• ツール名称：グリーン調達 調査回答ツール Ver4.xx［JGP4 ファイル（拡張子 jgp4）］

② ツールの画面構成：
従来の第一階層（基本情報/製品・部品・材料情報画面）、第二階層（含有化学物質群情報画面）に加え、あらたに第三階層（CAS 番号レベルの含有物質情報画面）を設定しています。

③ 多言語対応：
Ver.4 ツールには、日本語、英語、中国語の各国語ツールが組込まれてあり、ユーザーが各国語を選択する「多言語対応ツール」の方式を採用しています。

注）：ただし各言語ツールで作成された JGP ファイル間の互換性には、従来の Ver.3 と同様に制約がありますのでご了承下さい。

④ 日付項目（年・月・日）の入力および表示形式：
各言語ツール共に統一し、YYYY/MM/DD としています。（JGP ファイルのデータ型式と同じ）

⑤ 旧フォーマットデータの読み込み：
1) Ver.3 ツールの各バージョンで作成された JGP ファイルは、Ver.4.xx ツールで読み込めます。（ただし、読み込めるデータには制限があります。）

注1）：Ver.3 の詳細型の JGP2 ファイルは、一度、Ver.3 ツールで標準型の JGP1 ファイルにコンバートする必要があります。
注2）：旧フォーマットデータ（Ver1,Ver2）は、Ver4.xx ツールでは読み込めません。

⑥ LOAD したファイルの Ver.情報の表示：
読み込んだ JGP ファイルを作成した調査回答ツールの、バージョンおよびツール名称が表示されます。

⑦ 各種のツール機能：（Ver.3 ツールの基本機能を踏襲し、一部変更改良を加えています。）
1) チェック機能：各画面に入力したデータのチェックを自動的に行い、エラーとワーニング内容を表示します。（エラーチェック 1 およびエラーチェック 2 ボタン）
主なチェック内容：・記入漏れチェック ・データ不整合チェック
・年月日チェック ・全角半角チェック ・文字数、桁数チェック
・含有判定 Y/N と使用用途分類の整合性チェック
2) 並べ替え：調査対象アイテムの各項目をキーにしたデータの並べ替えが出来ます。
3) 各画面の印刷：基本情報/製品・部品・材料情報の画面または化学物質含有情報の画面を印刷出来ます。
4) その他：他の JGP ファイルの追加読み込み(ADD JGP)など。

2. Ver.4 ツールのパソコン動作環境、対応バージョンなどについて

① 対応するエクセルのバージョン
Excel 2003 Windows 版
Excel 2007 Windows 版

注）: Excel 2000 および 2002 版については動作保証の範囲外ですが、不都合があれば JGPSSI のホームページのお問合せで連絡下さい。

* Excel および Windows は米国 Microsoft corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

② OS は上記エクセルが対応する Windows (Windows XP, Windows VISTA)とします。

③ 欧州言語パソコンで英語版ツールを使用する場合の対象言語範囲：
ドイツ語、フランス語およびスペイン語とします。

④ 動作環境（OS、EXCEL）の言語別一覧

	日本語版OS,EXCEL	英語版／ドイツ語／スペイン語／フランス語版 OS,EXCEL	中国語（簡体）版 OS,EXCEL
日本語版ツール	○	×	×
英語版ツール	○	○	○
中国語版ツール	×	×	○

○・・・動作保証対象
△・・・動作保証対象外

⑤ JGP4 ファイルの互換性一覧

	日本語版ツールでの取込有無	英語版ツールでの取込有無	中国語版ツールでの取込有無
日本語版ツールで生成したJGPファイル	○	△	△
英語版ツールで生成したJGPファイル	△	○	△
中国語版ツールで生成したJGPファイル	△	△	○

（注）Ver3ツール同様にOSデフォルトの文字コードで、JGP4ファイルの入出力を行う
○・・・互換性あり
△・・・半角英数字のみ互換性有り

注）: Ver.4 ツールで出力する JGP ファイルの文字コードは、Ver.3 ツールと同様に、使用するパソコンの OS をデフォルトとしています。多言語用の文字コードである、Unicode（UTF-8）には対応していませんので、各言語ツールで作成された JGP ファイル間のデータの互換性には制約があります。

3. Ver.4 ツールのダウンロード

- Ver4 ツールは下記の JGPSSI ホームページに公開しています。どなたでも無料でお使いになれますので、ダウンロードしてご自分のパソコンに保存して下さい。

JGPSSI ホームページ： http://www.jgpssi.jp

メニュー ⇒ Ver4 調査回答ツール、マニュアル ⇒ 調査回答ツール Ver4.xx.xls

注 1) : 本ツールは法令への対応、JIG 改訂、機能の修正、改善などのためにバージョンアップすることがあります。お手元にダウンロードしたファイル（ツール）が最新版である事を確認の上、お使い下さい。

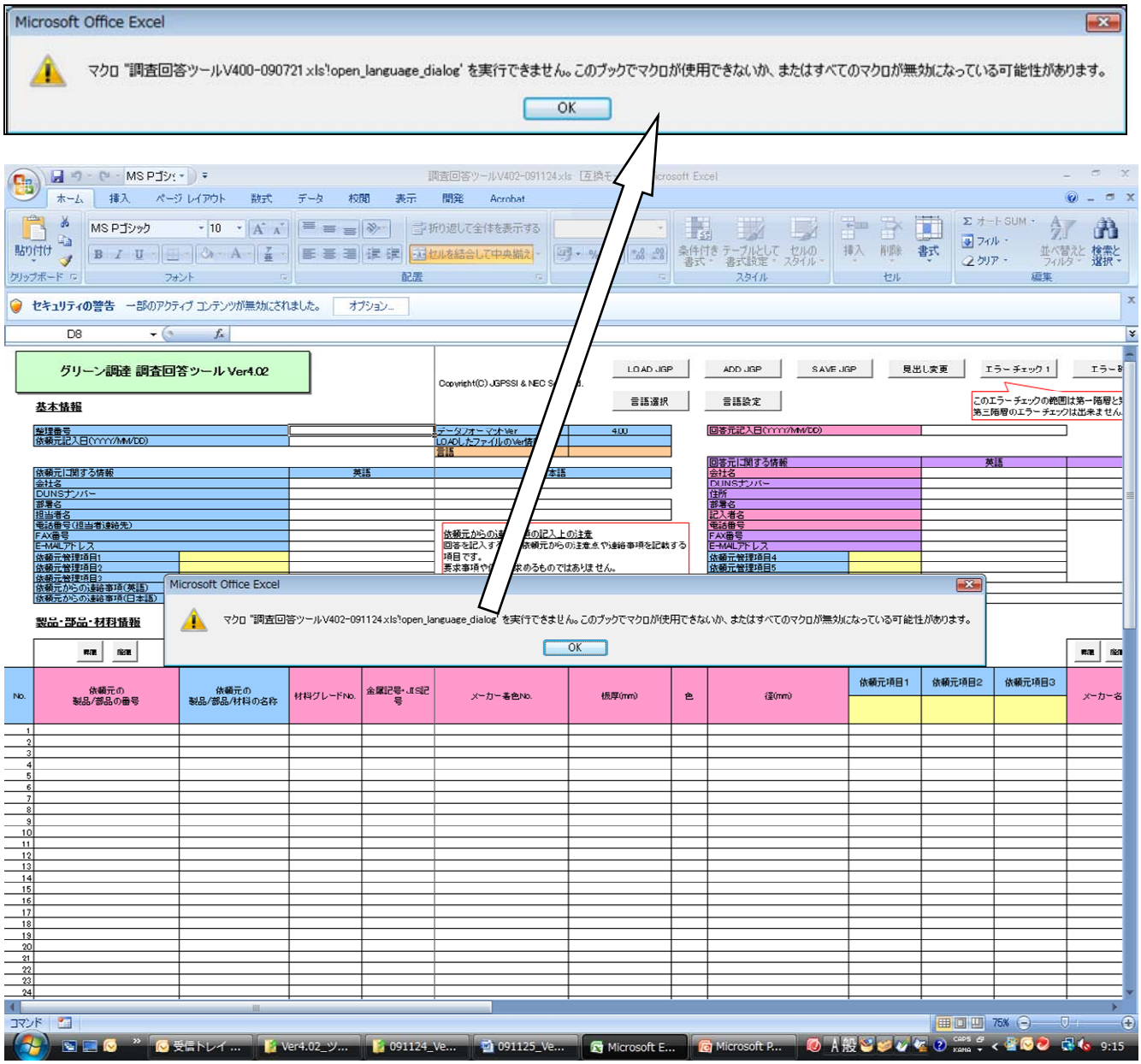
注 2)：本マニュアルは、各社が自社の購入品についての含有化学物質調査の依頼をする場合、JGP ファイルに必要な情報を入力し、サプライヤ（回答元）に送付する事により行う事を前提に記述しています。詳しくは Ver.4 調査回答マニュアルの 14 ページ「８.運用フロー」などを参照下さい。

注 3)：本マニュアルの説明ではパソコン上の画面表示の例を示しますが、一部を除き、パソコンの OS は Windows VISTA、EXCEL は 2007 の場合を示します。

4. Ver.4 ツールの起動

4.1 マクロの設定とセキュリティー：

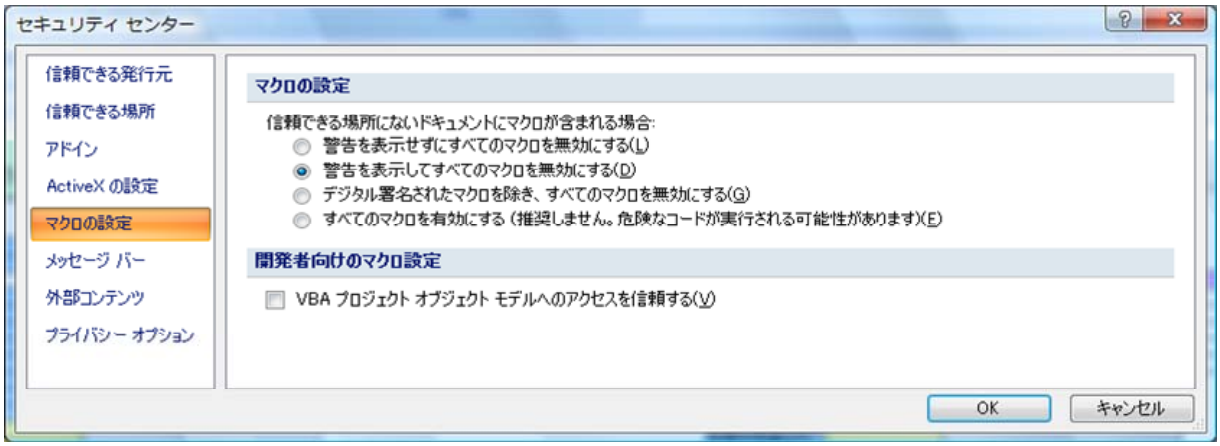
- パソコンに保存した Ver.4 ツールを開き、各ボタンの操作または各項目のセルに入力しようとした場合に、以下の様に Ver.4 ツールの画面に下図の様なメッセージが表示される場合があります。これはお使いのパソコンが、マクロを無効に設定しているためです。Ver.4 ツールを使うためには、マクロを有効に設定する必要があります。先ずはメッセージの OK ボタンをクリックし、マクロの設定については次ページを参照下さい。



- 本マニュアルでの説明では､マクロの設定は以下の画面表示の様に､「警告を出して全てのマクロを無効にする」を前提にしています。そこで以下の設定をお勧めします。

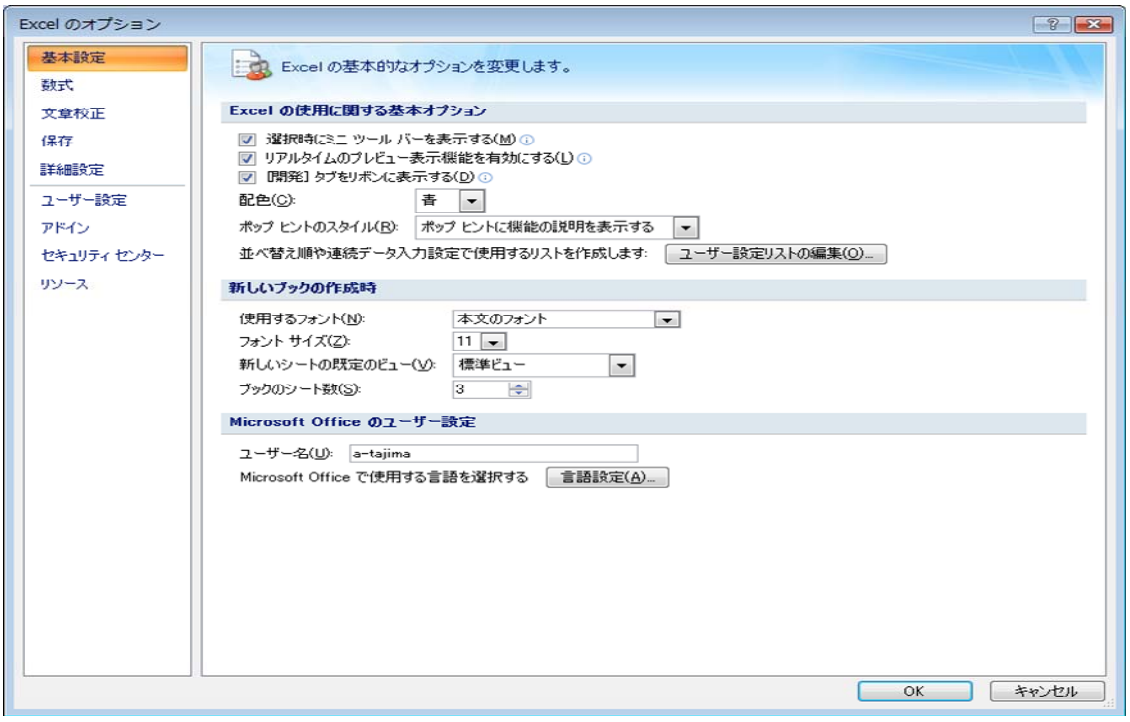
- エクセル画面上部のメニューの［開発］をクリックし､「マクロのセキュリティー」をクイックすると以下の画面が出ます。ここでマクロの設定の「警告を出して全てのマクロを無効にする」を選択し、OK ボタンをクリックして元の画面に戻ります。

（以下の画面は、メニューの､「開発」→「マクロのセキュリティー」で表示されます。）

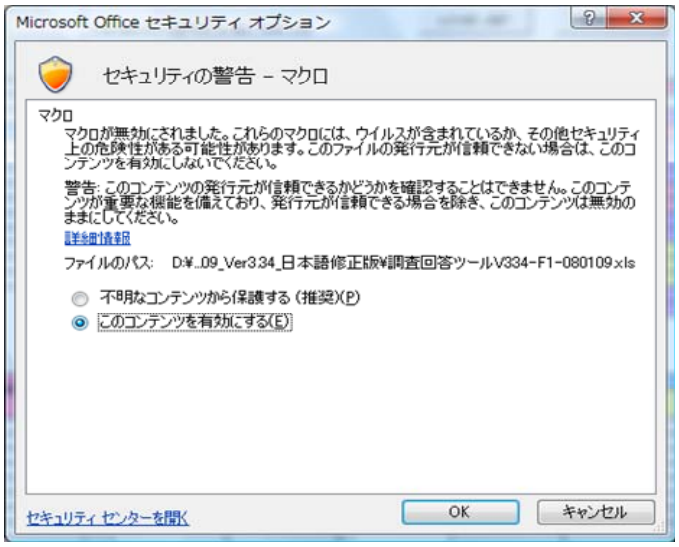


注 1)：マクロの設定に関する最終判断は、各ユーザーに委ねられます。

注 2)：メニューに「開発」が表示されていない場合は、画面の左上にある、Office ボタンをクリックし、更に［Excel のオプション］をクリックして以下の表示の左側の［基本設定を］クリックします。
この表示の［Excel の使用に関する基本オプション］にある、［開発］タブをリボンに表示する､にチェックマークを付けて、［OK］ボタンをクリックして下さい。これでエクセル画面の上部に［開発］が表示されます。



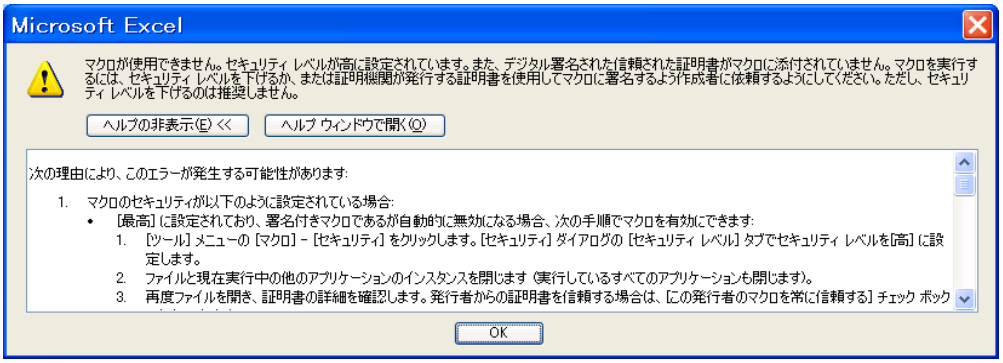
- ［開発］をクリックして、マクロの設定を行った後は、エクセルを一旦閉じて、再度 Ver.4 ツールを開いてください。
  画面の左上に「**セキュリティーの警告**　一部のアクティブコンテンツが無効にされました」が表示されます。この表示の右側の［オプション］をクリックし以下の画面で、「このコンテンツを有効にする」を選択し、OK を押しますと、マクロが有効となり言語選択の画面が表示されます。



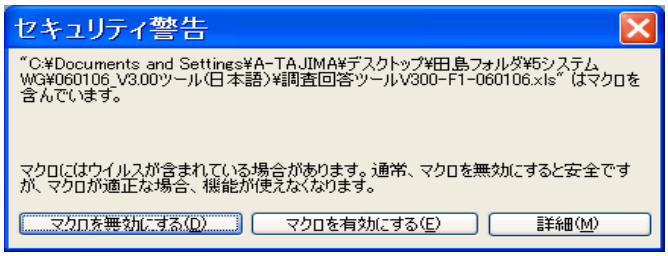
<参考> 以下は Windows　XP のセキュリティーレベル設定とマクロ設定の例です。
Ver.4 ツールを起動し「マクロを有効にする」を選択し画面を開きます。

注）: 本ツールを使用する場合にはマクロのセキュリティーレベルを「中」に設定して下さい。セキュリティーレベルが「高」に設定されていると下記の警告が出ます。〔**OK**〕のボタンをクリックすると下記の警告は消えますが、本ツールを使用する事はできません。Excel のメニューのツールを選び、マクロのセキュリティーの画面で設定を「中」に変更してから Excel を再起動し、再度ツールを開いて下さい。

Windows XP の表示例:



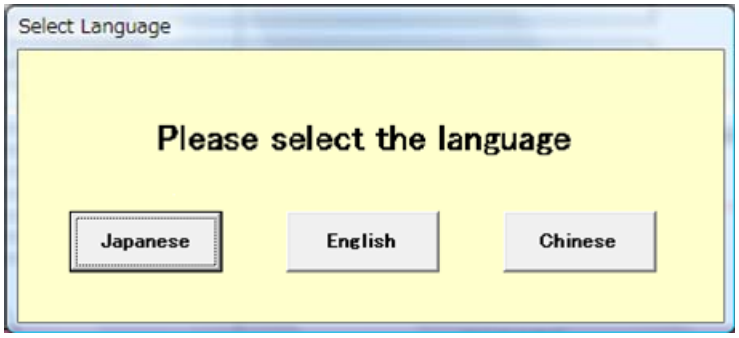
- 下記の表示が出たら、〔**マクロを有効にする**〕をクリックして下さい。



4.2　言語選択：

- ダウンロードした Ver.4 ツールを最初に起動すると、以下の様に言語選択画面（Select Language）が表示されます。三つの言語の内、どれか一つの言語ボタンをクリックし、使用する言語のツールを選択します。日本語版ツールを使用する場合には、「Japanese」のボタンをクリックします。言語選択が完了すると以下の画面表示が消えます。言語選択画面のキャンセルは出来ません。

  注 1)：使用するパソコンによっても異なりますが、言語のボタンをクリックしてから選択した言語の画面に切り換わるまでには、数十秒かかる場合があります。



  注 2)：「言語設定」については、9. その他の各種ボタンの機能を参照して下さい。

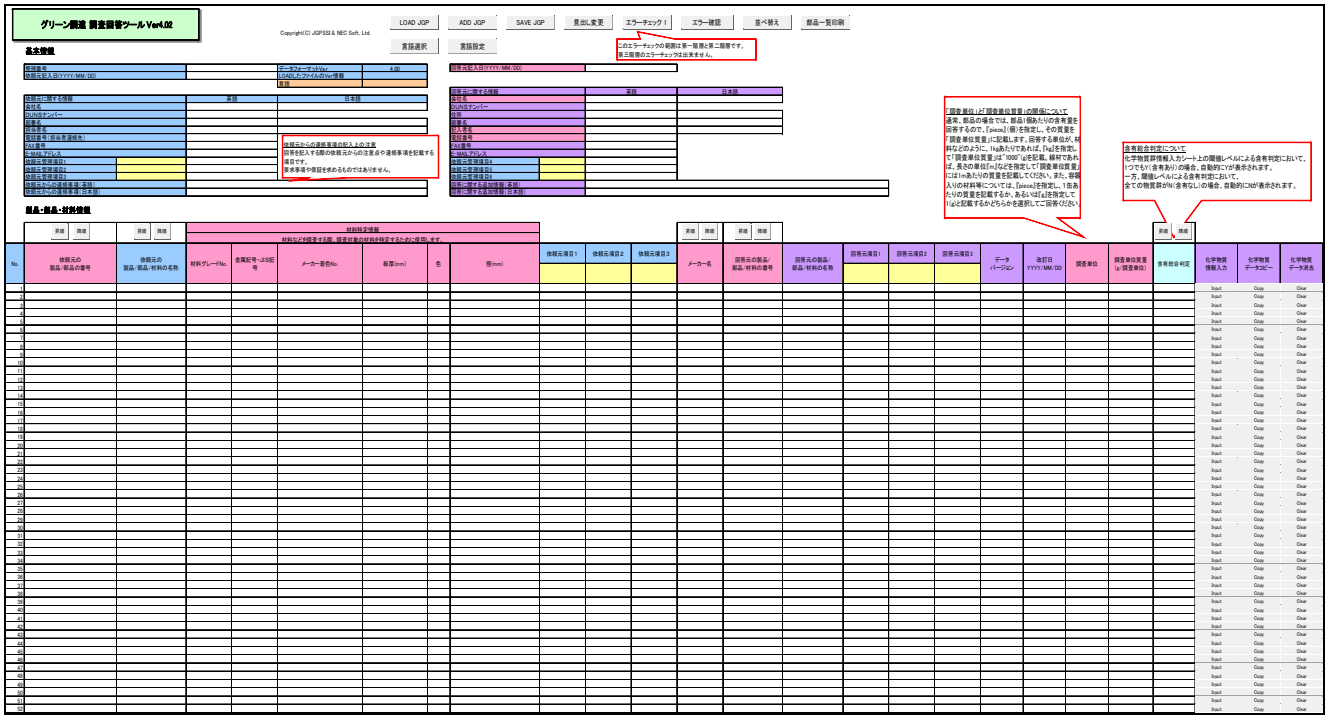
  注 3)：本マニュアルでは日本語版ツール使用時の説明を前提とします。

- 次の画面が表示されます。

  注 1)：この画面は、「第一階層」と呼びます。調査の依頼元の情報や回答元の情報および調査対象アイテムの情報などを入力する画面です。

  注 2)：各項目のセルは色付けされていますが、原則的には以下の様な意味があります。

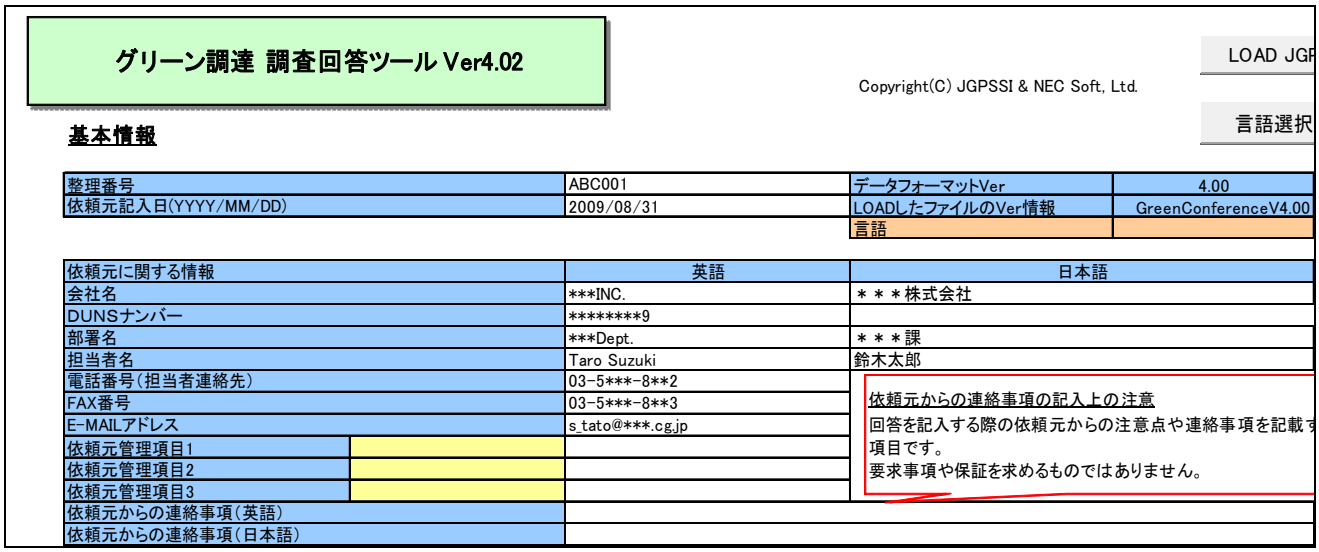
  - 青：依頼元が入力する項目です。
  - 紫：回答元が入力する項目です。
  - ピンク：入力が必須の項目です。（条件付きの場合あり）



5. 調査依頼元による調査依頼データ（JGP ファイル）の作成：

5.1 基本情報の入力：

- 依頼元は、Ver.4 調査回答マニュアルの 6 ページ、５.調査項目の章を参照しツール画面の左上に表示される依頼元記入日、依頼元に関する情報などを入力して下さい。
  以下は【入力例】です。



グリーン調達 調査回答ツール Ver4.02

Copyright(C) JGPSSI & NEC Soft, Ltd.

LOAD JGP

言語選択

基本情報

整理番号	ABC001	データフォーマットVer	4.00
依頼元記入日(YYYY/MM/DD)	2009/08/31	LOADしたファイルのVer情報	GreenConferenceV4.00
		言語	

依頼元に関する情報	英語	日本語
会社名	***INC.	＊＊＊株式会社
DUNSナンバー	********9	
部署名	***Dept.	＊＊＊課
担当者名	Taro Suzuki	鈴木太郎
電話番号(担当者連絡先)	03-5***-8**2	
FAX番号	03-5***-8**3	
E-MAILアドレス	s_tato@***.cg.jp	
依頼元管理項目1		
依頼元管理項目2		
依頼元管理項目3		
依頼元からの連絡事項(英語)		
依頼元からの連絡事項(日本語)		

依頼元からの連絡事項の記入上の注意
回答を記入する際の依頼元からの注意点や連絡事項を記載す
項目です。
要求事項や保証を求めるものではありません。

注）：英語の欄に入力する場合には必ず半角英数文字でデータを入力して下さい。

5.2 調査対象アイテムに関する情報の入力：

- Ver.4 調査回答マニュアルの５．調査項目の（３）を参照して、画面の基本情報の下にある調査対象アイテムに関する情報を必要に応じ入力して下さい。ピンク色のセルは入力必須ですが、依頼元の製品/部品の番号は調査対象アイテムが材料の場合に使用する 6 項目（材料特定情報）の全てに入力が無い場合のみ入力必須です。（下図参照）

注）：＜JGP ファイルの出力条件＞
調査対象アイテムを特定する下記の 7 項目のピンク色のセルのいずれにも入力がない場合には、該当する行のデータが JGP ファイルに保存されませんのでご注意下さい。
ただし、下記の 7 項目の全てに入力が無い場合でも、「メーカー名」、「回答元の製品/部品/材料の番号」のどちらかに入力があれば該当する行のデータが JGP ファイルに保存されます。

【入力例】調査対象アイテムが部品の場合（コンデンサ）

製品・部品・材料情報

No.	依頼元の製品/部品の番号	依頼元の製品/部品/材料の名称	材料特定情報 材料などを調査する際、調査対象の材料を特定するために使用します。 材料グレードNo.	金属記号・JIS記号	メーカー着色No.	板厚(mm)	色	径(mm)	依頼元項目1 仕様書No.	依頼元項目2	依頼元項目3
1	ABC-123	コンデンサA							ABC-1		
2	ABC-124	コンデンサB							ABC-2		
3	ABC-125	コンデンサC							ABC-3		
4											
5											

【入力例】調査対象アイテムが材料の場合（プラスチック材料）

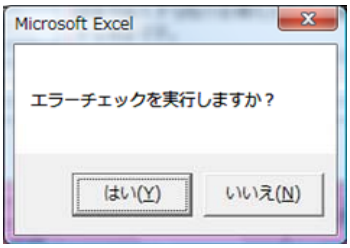
製品・部品・材料情報

No.	依頼元の製品/部品の番号	依頼元の製品/部品/材料の名称	材料特定情報 材料などを調査する際、調査対象の材料を特定するために使用します。 材料グレードNo.	金属記号・JIS記号	メーカー着色No.	板厚(mm)	色	径(mm)	依頼元項目1 仕様書No.	依頼元項目2	依頼元項目3
1		ABS	A100-XXX		12345		白				
2											
3											
4											
5											

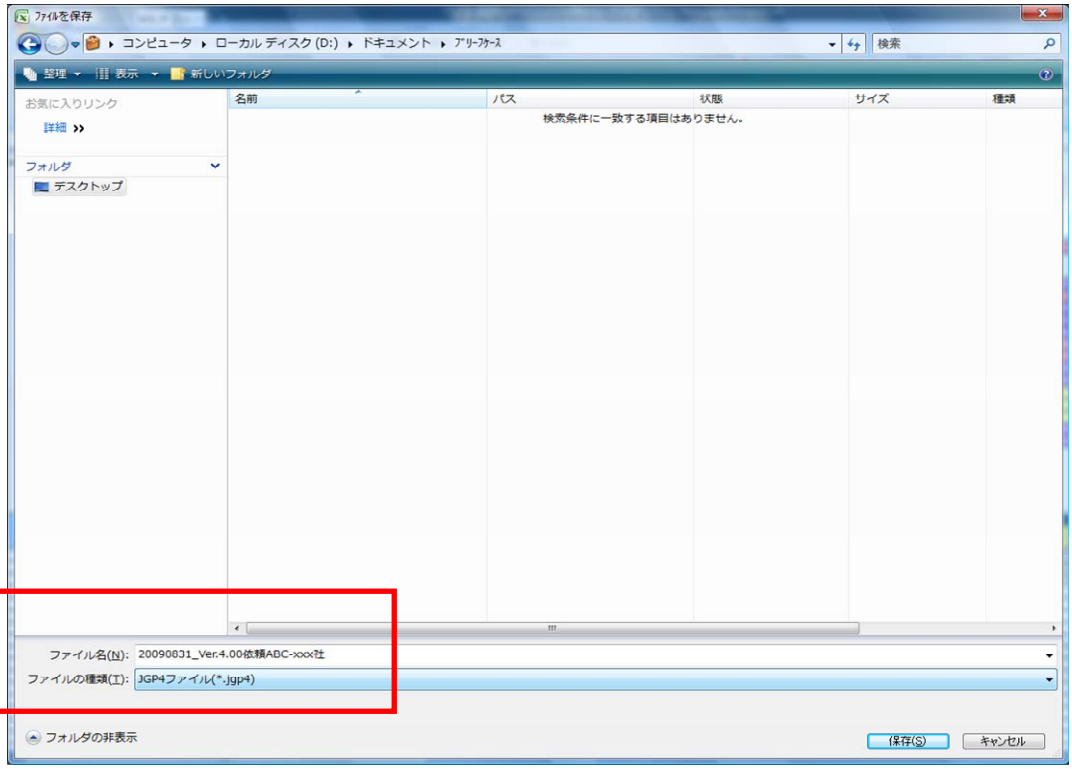
5.3　JGP ファイルの保存（調査依頼用の JGP ファイル）:

- 画面の上部にある〔**SAVE JGP**〕ボタンをクリックして下さい。
  【エラーチェックを実行しますか？】→〔**いいえ**〕を選んで下さい。

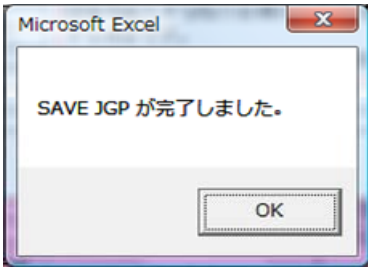
  注）:〔**はい**〕でエラーチェックを実行すると、回答元の情報（入力必須項目）が未入力であるため、エラーが表示されます。調査依頼用の JGP ファイルを作成する際の SAVE JGP の場合には、エラーチェックは実行しないで下さい。
  ただし、上記 5.2 の注）：＜JGP ファイルの出力条件＞を確認して下さい。



- 次の画面が出ますので、保存先フォルダを指定し、ファイル名を付けて保存して下さい。
  保存される JGP ファイルには jgp4 の拡張子が自動的に付きます。（下図の赤枠内参照）

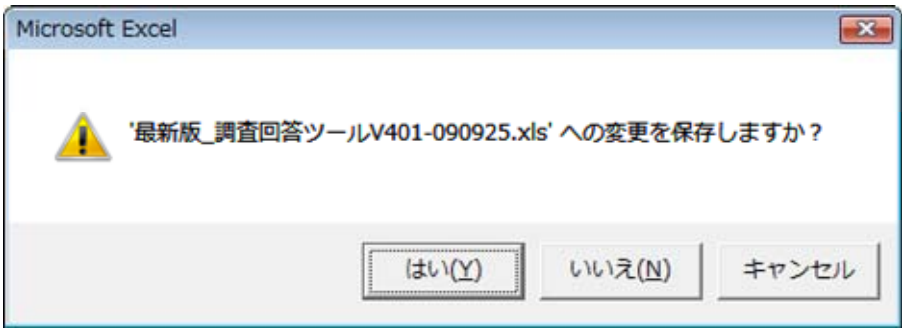


- 以下の表示が出たら〔**OK**〕をクリックして下さい。これで JGP ファイルの保存が完了です。



5.4　調査回答ツールの終了：

- エクセル画面の右上のＸボタンなどをクリックし、ツールを閉じて下さい。
  以下の画面が表示されます。〔**はい**〕を選ぶと、入力データがツールに上書き保存されます。



5.5　JGP ファイルを調査回答元へ送る（調査依頼）：

- 調査依頼元は基本情報や調査対象アイテムの情報を入力した JGP ファイルを回答元に送って下さい。

  注）：原則として依頼元と回答元のデータ交換は JGP ファイルを使用して下さい。

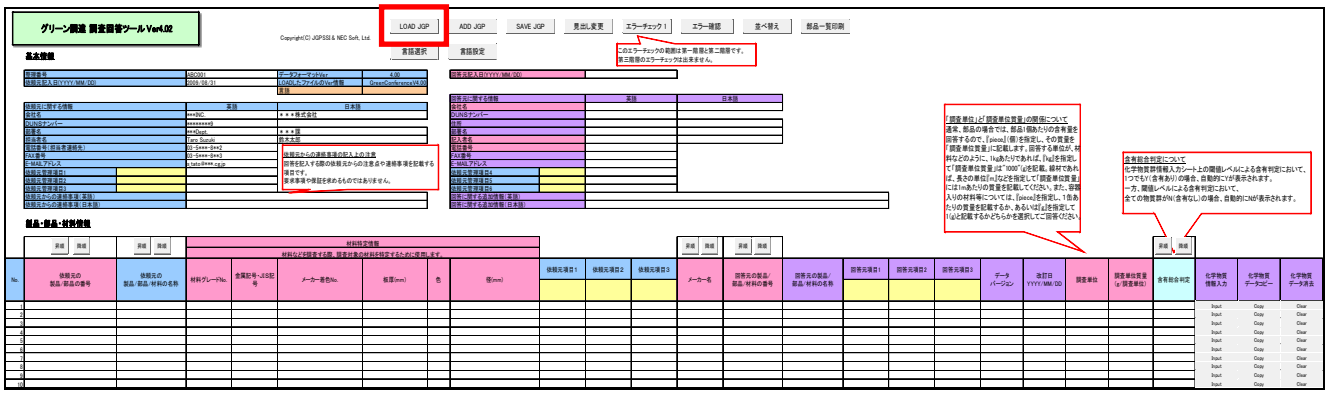
6. 回答元による回答データ（JGP ファイル）の作成

6.1　調査依頼元から送付された JGP ファイルのデータの読み込み　（LOAD JGP）：

①　調査依頼データが入力されている JGP ファイルをご自分のパソコンに保存して下さい。

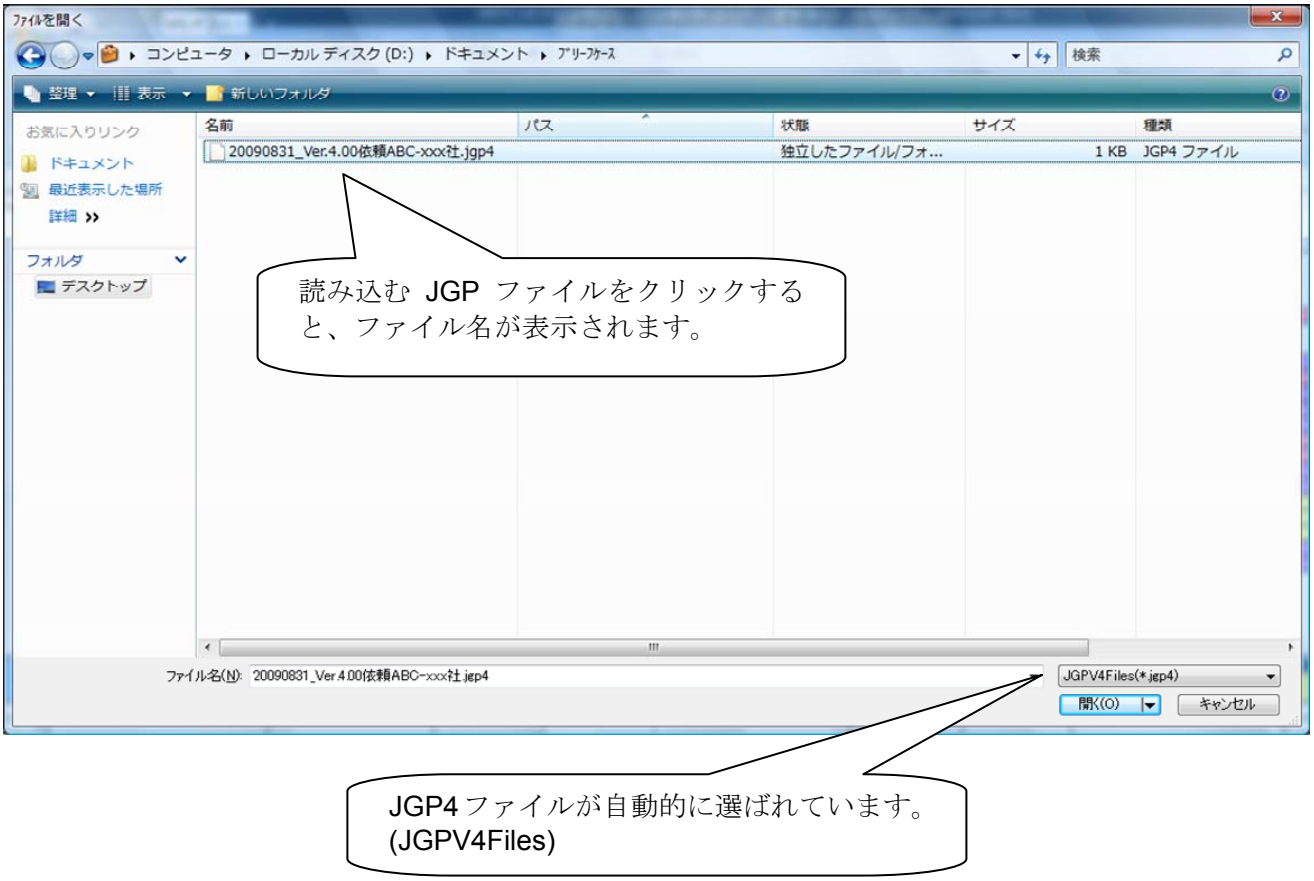
②　Ver.4 ツールを起動して下さい。（ 4 .Ver.4 ツールの起動、を参照 ）

以下の画面（第一階層）が表示されます。



③　この画面の上部にある〔**LOAD JGP**〕ボタンをクリックして下さい。

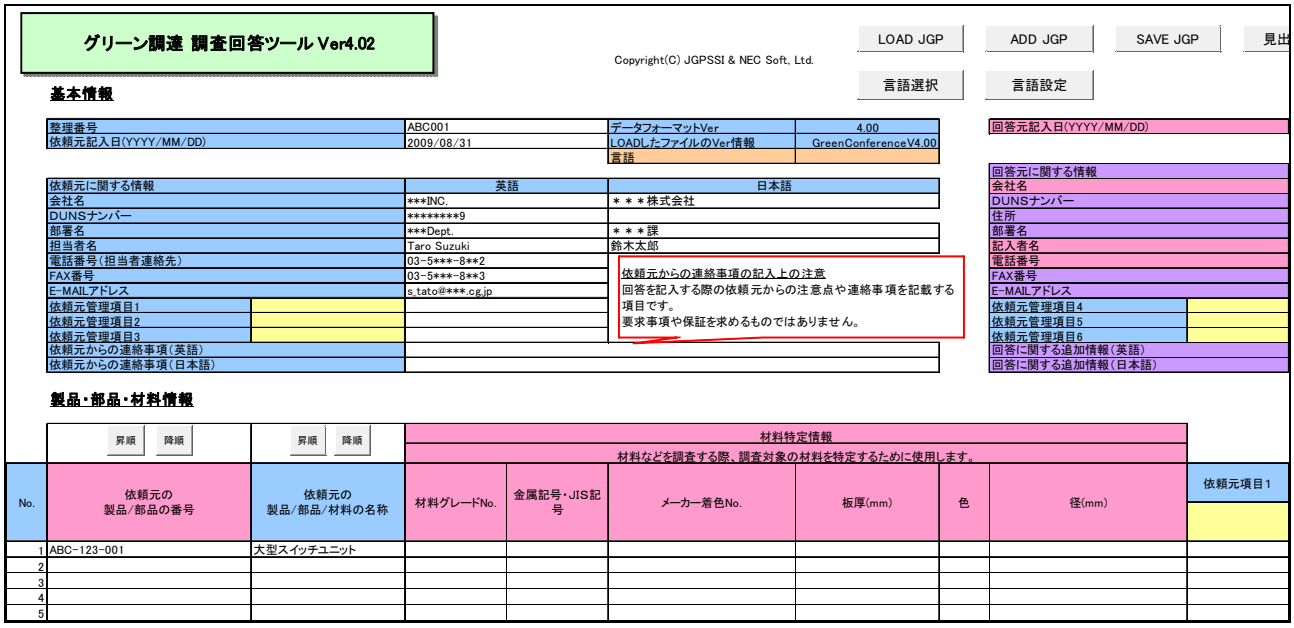
下記の「ファイルを開く」の画面が出ます。



注）: Ver.3 の JGP ファイルを読み込む場合にはファイルの種類を（JGPV3Files）に変更して下さい。詳細は、「7. 旧フォーマットデータ（Ver.3 の JGP ファイル）の読み込み」を参照下さい。

- 読み込む JGP ファイルを指定（クリック）し〔**開く**〕をクリックして下さい。
  調査依頼データが調査回答ツールに読み込まれ、以下の表示が出ますので〔**OK**〕をクリックして下さい。

- 下図の例の様に依頼元に関する情報、調査依頼対象アイテムの情報が読み込まれます。

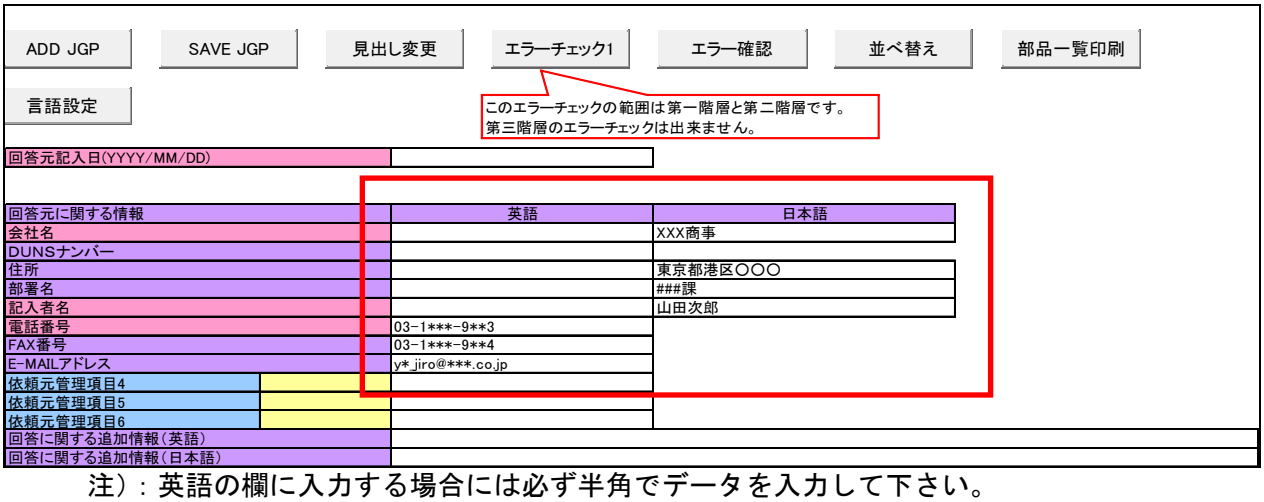


注）：第一階層画面の「言語」のセルの上にある、「LOAD したファイルの Ver 情報」には、読み込んだ JGP ファイルを作成した、Ver.4 または Ver.3 調査回答ツールのバージョンおよびツール名称およびが表示されます。
（JGPSSI ツールの例：GreenConferenceV4.01、GreenConferenceV3.34）

6.2　回答元が入力する項目（基本情報、調査対象アイテム情報など）：

① 回答元に関する情報の入力（ピンク色のセルは入力必須項目です。）
会社名など回答元に関する情報を入力して下さい。
（詳細は Ver.4 調査回答マニュアルの 7 ページ、５．（２）回答元に関する情報を参照下さい）

【入力例】



注）：英語の欄に入力する場合には必ず半角でデータを入力して下さい。
依頼元管理項目は原則依頼元が入力する項目です。入力データがある場合は変更しないで下さい。

② 回答元のメーカー名、番号、名称を入力して下さい。
（回答元項目 1,2,3 は回答元のメモとして使用できます。）

【入力例】

メーカー名	回答元の製品/部品/材料の番号	回答元の製品/部品/材料の名称	回答元項目1	回答元項目2	回答元項目3
〇〇電気	abc-123	スイッチユニット			

③ データバージョン、改訂日を入力して下さい。データバージョンに該当する情報がない場合、これらは未入力で結構です。

④ 調査単位を選択し、単位あたりの総質量を入力して下さい。

- プルダウンメニューから調査単位を選択して下さい。
- 設定された調査単位当たりの総質量をｇで入力して下さい。

例）： 調査単位が Piece(個)の場合 → 調査対象アイテム１個あたりの質量
調査単位が kg の場合→ 1kg あたりの質量 ＝ 1000g

【入力例】

データバージョン	改訂日 YYYY/MM/DD	調査単位	調査単位質量（g/調査単位）	含有総合判定
		piece	2500.000	

注 1）:「含有総合判定」は自動表示されます。手入力する項目ではありません。
ツール上に表示されている吹き出しを参照下さい。

注 2）：調査単位と調査単位質量に関してはツール上に表示されている以下の吹き出しを参照して下さい。

「調査単位」と「調査単位質量」の関係について
通常、部品の場合では、部品1個あたりの含有量を回答するので、『piece』(個)を指定し、その質量を「調査単位質量」に記載します。回答する単位が、材料などのように、1kgあたりであれば、『kg』を指定して「調査単位質量」は"1000"(g)を記載。線材であれば、長さの単位『m』などを指定して「調査単位質量」には1mあたりの質量を記載してください。また、容器入りの材料等については、『piece』を指定し、１缶あたりの質量を記載するか、あるいは『g』を指定して1(g)と記載するかどちらかを選択してご回答ください。

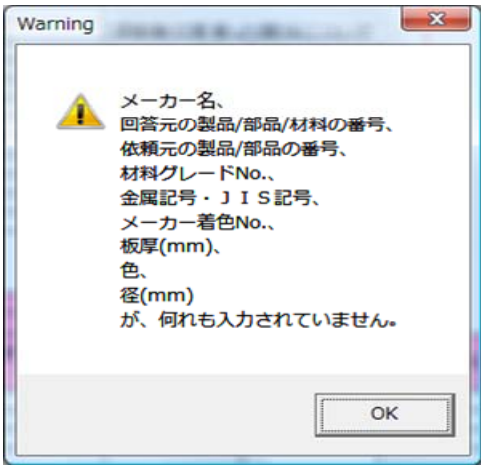
6.3 含有化学物質群の情報の入力 画面（第二階層）への遷移（移行）：

- 基本情報画面にて、入力したい調査対象アイテムの行の〔**Input**〕ボタンをクリックし、化学物質群情報の入力画面に移って下さい。（下図参照）

調査単位	調査単位質量（g/調査単位）	含有総合判定	化学物質情報入力	化学物質データコピー	化学物質データ消去
piece	2500.000		Input	Copy	Clear
			Input	Copy	Clear

注）:〔**Input**〕をクリックすると以下の図の様にワーニング表示が出る場合があります。
（調査対象アイテムを特定する情報が何も入力されていない場合です。）

〔**OK**〕をクリックすると含有化学物質群情報の入力画面（第二階層）に移ります。

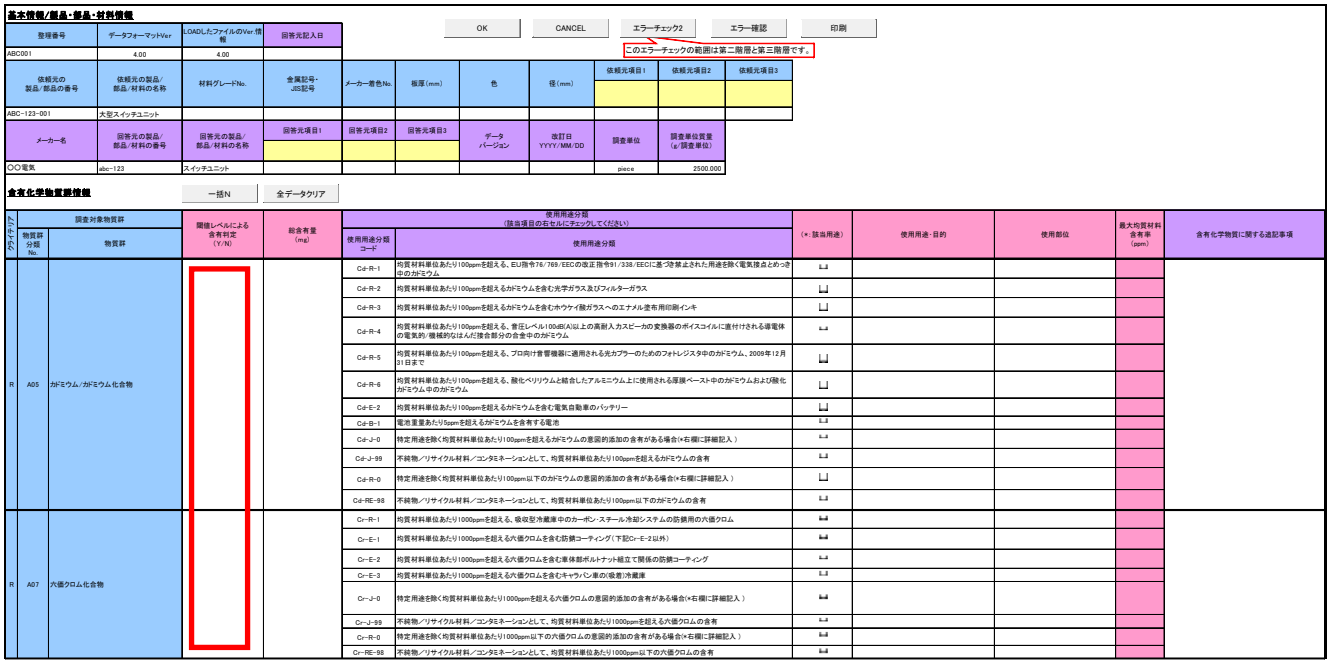


6.4　含有化学物質群情報の入力（第二階層）:

下図の様に画面上部には前画面の基本情報や調査アイテムの情報が自動的に表示されます。

注 1）: この画面は第二階層と呼びます。含有化学物質の群レベルの回答を入力する画面です。各項目の回答方法は、Ver.4 調査回答マニュアルの 10～12 ページ、（４）含有化学物質群の情報、を参照して下さい。

注 2）: REACH 対応の一部の物質群についての詳細情報は、使用用途・目的と使用部位の部分のセルをクリックし、第三階層に遷移して入力して下さい。
詳細は本マニュアルの 6.5 含有化学物質情報の入力（第三階層）、を参照下さい。

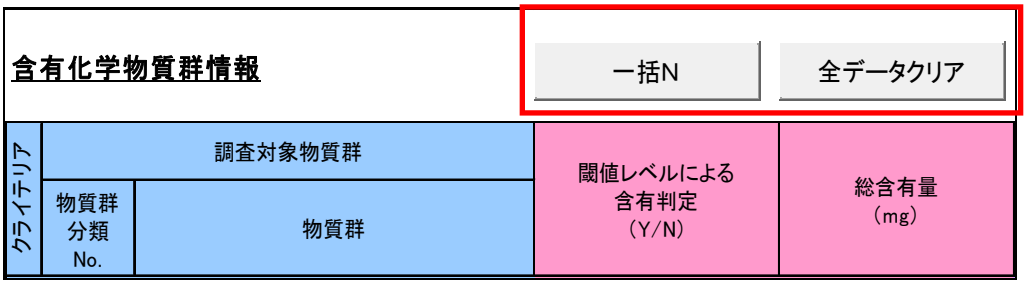


① 閾値レベルによる含有判定 Y/N の入力：

- 各物質群の「閾値レベルによる含有判定」の欄をクリックするとプルダウンメニューが現れます。必ずＹまたはＮを選択して下さい。（32 物質群の全てに入力必須です。）
Ｙ及びＮは大文字もしくは小文字での直接入力も出来ます。

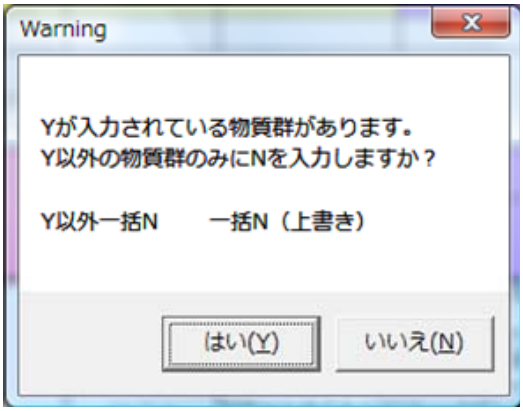
- 含有判定 Y/N の判定の方法については、Ver.4 調査回答マニュアルの 10 ページ、（４）含有化学物質群の情報の、① 閾値レベルによる含有判定(Y/N)、を参照して下さい。

〔**一括N**〕ボタンの機能について:



- 32 物質群の全ての含有判定が空欄の場合に一括 N ボタンをクリックすると、32 物質群すべての含有判定に N が自動入力されます。

- 32 物質群のどれか 1 つに既に Y が入力されている場合に一括 N ボタンをクリックすると、以下のワーニング表示が出ます。

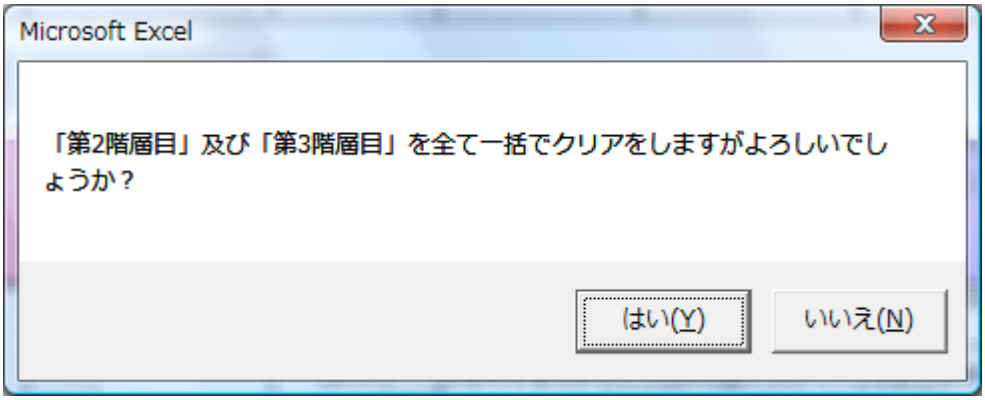


〔**はい**〕をクリックすると、既に Y が入力されている物質群以外の物質群の含有判定に N が自動入力されます。「Y 以外一括 N」はこれを意味しています。

〔**いいえ**〕をクリックすると、既に Y が入力されている物質群も含めて全ての物質群の含有判定に N が入力されます。「一括 N（上書き）」はこれを意味しています。

〔**全データクリア**〕ボタンの機能について:

- このボタンをクリックすると以下の画面が表示されます。
〔**はい**〕をクリックすると、既に入力されている第二階層と第三階層の全てのデータが削除されます。〔**はい**〕をクリックするかどうか、良く確認してから判断して下さい。



② 総含有量(mg)の入力：

- 前の画面（第一階層）の「調査単位」で設定された単位当たりに含有している化学物質の総含有量(mg)を有効数字 2 桁（3 桁目は四捨五入）で入力して下さい。総含有量については小数点第 3 位までしか表示されませんが、正しい総含有量を入力して下さい。
（含有判定が Y の場合は全ての物質群で入力必須です。）

		〔表示〕
例）：	2549mg の場合：2500mg	2500.000
	1.1456mg の場合：1.1mg	1.100
	0.00214mg の場合：0.0021mg	0.002
	0.1mg の場合：0.1mg	0.100

- 入力する値は把握している含有量の最大値を原則とします。

注）: 各物質群が金属及びその化合物かどうかによって、総含有量の算出方法が異なります。詳しくは Ver.4 調査回答マニュアルの 11 ページ、②を参照して下さい。

【入力例】

調査対象物質群		閾値レベルによる含有判定（Y/N）	総含有量（mg）
物質群分類 No.	物質群		
A05	カドミウム/カドミウム化合物	Y	490.000

③ 使用用途分類の選択（チェックマークを付ける）：

注）: 各使用用途分類は、含有判定 Y か又は N によって該当する項目が割り当てられています。含有判定（Y/N）に整合した使用用途分類を選択して下さい。
（詳細は別表 4 および別表 5 参照）

- 含有判定が Y の物質群では選択必須です。最低限 1 項目の該当する使用用途分類を選択して下さい。各項目の右の該当用途欄の“□”の右をクリックするとチェックマークが表示されます。（下図の入力例参照）

注 1）: REACH 対応の物質群（C09 のフタル酸エステル類以外）の使用用途分類の選択は、ラジオボタンで行います。（6.5 項参照）

注 2）: 上記以外でも、以下の 4 物質群の使用用途分類の選択はラジオボタンで行います。

- A19：酸化ベリリウム
- B07：ポリ塩化ビニル（PVC）
- B12：過塩素酸塩
- C02：一部のアゾ染料・顔料

以下は、A19：酸化ベリリウムの使用用途分類を選択するラジオボタンの例です。
使用用途分類の右側（＊：該当用途）の欄の丸印にカーソルを当ててクリックすると、ラジオボタンが黒丸に変わり、使用用途分類を選択出来ます。尚、選択した黒丸をクリアする場合には、カーソルを黒丸の左右どちらかに当ててクリックして下さい。

A19-J-0	調査単位あたりの重量比が0.1%を超える含有がある場合	○
A19-J-98	調査単位あたりの重量比が0.1%以下の含有がある場合	◉

- 調査対象アイテムの含有で該当する全ての使用用途分類を選択し、チェックマークを表示させて下さい。複数の部位に含有している場合、該当する全ての使用用途分類を選択して下さい。画面に表示される使用用途分類コードと内容は、Ver.4 調査回答マニュアルの別紙２、別紙３の使用用途分類リストと同じです。

- 含有判定が N の場合に各物質群の含有情報を回答する場合には、該当する（閾値レベルを超えない）使用用途分類コードを選択して下さい。末尾が 98 の使用用途分類コードはこの場合の一例です。詳しくは Ver.4 調査回答マニュアルの 11 ページ、③、および本操作マニュアルの別表 4 を参照下さい。

【入力例】　Cd-J-0 と Cd-J-99 にチェックマークが付いています。

使用用途分類 （該当項目の右セルにチェックしてください）		（*：該当用途）
使用用途分類コード	使用用途分類	
Cd-R-1	均質材料単位あたり100ppmを超える、EU指令76/769/EECの改正指令91/338/EECに基づき禁止された用途を除く電気接点とめっき中のカドミウム	□
Cd-R-2	均質材料単位あたり100ppmを超えるカドミウムを含む光学ガラス及びフィルターガラス	□
Cd-R-3	均質材料単位あたり100ppmを超えるカドミウムを含むホウケイ酸ガラスへのエナメル塗布用印刷インキ	□
Cd-R-4	均質材料単位あたり100ppmを超える、音圧レベル100dB(A)以上の高耐入力スピーカの変換器のボイスコイルに直付けされる導電体の電気的/機械的なはんだ接合部分の合金中のカドミウム	□
Cd-R-5	均質材料単位あたり100ppmを超える、プロ向け音響機器に適用される光カプラーのためのフォトレジスタ中のカドミウム、2009年12月31日まで	□
Cd-R-6	均質材料単位あたり100ppmを超える、酸化ベリリウムと結合したアルミニウム上に使用される厚膜ペースト中のカドミウムおよび酸化カドミウム中のカドミウム	□
Cd-E-2	均質材料単位あたり100ppmを超えるカドミウムを含む電気自動車のバッテリー	□
Cd-B-1	電池重量あたり5ppmを超えるカドミウムを含有する電池	□
Cd-J-0	特定用途を除く均質材料単位あたり100ppmを超えるカドミウムの意図的添加の含有がある場合(*右欄に詳細記入)	☑
Cd-J-99	不純物／リサイクル材料／コンタミネーションとして、均質材料単位あたり100ppmを超えるカドミウムの含有	☑
Cd-R-0	特定用途を除く均質材料単位あたり100ppm以下のカドミウムの意図的添加の含有がある場合(*右欄に詳細記入)	□
Cd-RE-98	不純物／リサイクル材料／コンタミネーションとして、均質材料単位あたり100ppm以下のカドミウムの含有	□

④　使用用途・目的の入力：

- チェックマークを付けた使用用途分類の行のセルに、該当する内容を入力して下さい。入力出来る文字数は、全角で 60 文字まで、半角英数字は 120 文字までです。
- 入力内容の詳細は Ver.4 調査回答マニュアルの 11 ページの④を参照下さい。
- 使用用途分類を選択している行の使用用途・目的の入力は必須です。

注）: REACH 対応の一部の物質群の場合には、使用用途分類の右側の以下の様に記載されているセルをクリックし、第三階層に遷移（移行）してから必要事項を入力して下さい。（詳細は 6.5 含有化学物質情報の入力（第三階層）、を参照）

◉	この行の使用用途分類を選択した場合には、このセルをクリックして、 特定物質情報入力にて詳細情報を記載して下さい。	
○	この行の使用用途分類を選択した場合には、このセルをクリックして、 特定物質情報入力にて詳細情報を記載して下さい。	

⑤ 使用部位の入力：

- チェックマークを付けた使用用途分類の行のセルに、該当する内容を入力して下さい。入力出来る文字数は、全角で 60 文字まで、半角英数字は 120 文字までです。
- 入力内容の詳細は Ver.4 調査回答マニュアルの 12 ページの⑤を参照下さい。
- 使用用途分類を選択している行の使用部位の入力は必須です。

注）：REACH 対応の一部の物質群の場合には、使用用途分類の右側の以下の様に記載されているセルをクリックし、第三階層に遷移（移行）してから必要事項を入力して下さい。（詳細は 6.5 含有化学物質情報の入力（第三階層）、を参照）

◉	この行の使用用途分類を選択した場合には、このセルをクリックして、 特定物質情報入力にて詳細情報を記載して下さい。	
□	この行の使用用途分類を選択した場合には、このセルをクリックして、 特定物質情報入力にて詳細情報を記載して下さい。	

⑥ 最大均質材料含有率の入力：

- 含有化学物質の含有部位の均質材料(homogeneous material)に対しての含有率(ppm)を入力して下さい。複数部位に同一の使用用途分類がある場合には最大値を入力して下さい。
- 使用用途分類を選択している行の最大均質材料含有率の入力は、物質群および使用用途分類によって、必須の場合と任意の場合があります。詳細は Ver.4 調査回答マニュアルの 12 ページの⑥の(3)を参照下さい。

⑦ 追記事項の入力：

- 含有化学物質に関する追加の情報があれば、追記事項の欄に記載して下さい。
- 入力は任意です。
- 入力出来る文字数は全角で 60 文字まで、半角英数字は 120 文字までです。
- 例などは、Ver.4 調査回答マニュアルの 12 ページの⑦を参照下さい。

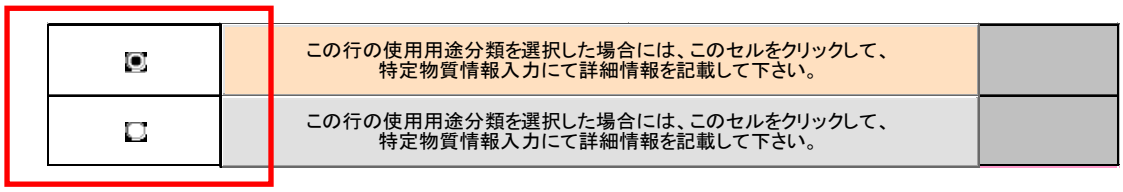
【各項目の入力例】

使用用途･目的	使用部位	最大均質材料含有率（ppm）	含有化学物質に関する追記事項
			黄銅についてはRoHS基準(100ppm)以下にコントロール／閾値以下へのコントロールを検討中
安定化／耐蝕表面処理	接点／フレーム表面めっき部	152	
黄銅中の不純物／安定剤不純物	スイッチ端子／樹脂フレーム	104	

6.5　含有化学物質情報の入力（第三階層）:

① 第二階層に表示されている 32 物質群の内、REACH 対応の一部の物質群（C09 除く）の使用用途分類は、含有判定が Y か N によって、該当するものを一つ選択して下さい。

下図の様に、使用用途分類の右側（＊：該当用途）の欄の丸印にカーソルを当ててクリックすると、ラジオボタンが黒丸に変わり、使用用途分類を選択出来ます。尚、選択した黒丸をクリアする場合には、カーソルを黒丸の左右どちらかに当ててクリックして下さい。



注）：REACH 対応の物質群の内、C09 のフタル酸エステル類（DEHP,DBP,BBP）のみは、該当する両方の使用用途分類を選択出来る様にするために、ラジオボタンは設定していません。

② 選択した（＊：該当用途）の右側のセルをクリックすると、下図の様な画面に遷移します。この画面を「第三階層」と呼びます。

以下は、C09：フタル酸エステル類（DEHP, DBP, BBP）の含有判定が Y で、該当する使用用途分類である C09-J-0 を選択している場合に遷移する第三階層の画面です。

注 1）：第三階層の各項目の回答方法については、Ver.4 調査回答マニュアルの 13 ページ、（５）含有化学物質の情報、を参照して下さい。

注 2）：第三階層は REACH 対応の物質群の各物質が全て一画面に記載され、対象となる物質が CAS 番号で予め記載されています。第二階層から遷移すると、その物質群に該当する部分が自動的にスクロールされて表示されます。

注 3）：第三階層の入力は、第二階層の含有判定（Y/N）に連動して選択した使用用途分類コードに合った使用用途分類コードを対象に行って下さい。（ただし C09 を除く）

含有化学物質情報（DEHP、DBP、BBP）

クライテリア	物質群分類No.	物質群	使用用途分類コード	使用用途分類
R	C09	フタル酸エステル類〈DEHP（CAS.No.117-81-7）、DBP（CAS.No.84-74-2）、BBP（CAS.No.85-68-7）〉	C09-J-0	調査単位あたりの重量比が0.1%を超える含有がある場合

含有する特定物質情報				調査単位あたりの化合物含有量（mg）	使用用途・目的	使用部位	調査単位あたりの重量濃度（自動計算）(wt%)	含有化学物質に関する追記事項
CAS.No.	EC.No.	含有物質名称（日）	含有物質名称（英）					
117-81-7	204-211-0	フタル酸ビス（2-エチルヘキシル）	Bis (2-ethylhexyl) phthalate (DEHP)					
84-74-2	201-557-4	フタル酸ジブチル	Dibutylphthalate (DBP)					
85-68-7	201-622-7	ブチルベンジルフタレート	Butyl benzyl phthalate (BBP)					

【各項目の入力例】

調査単位あたりの化合物含有量（mg）	使用用途・目的	使用部位	調査単位あたりの重量濃度（自動計算）(wt%)	含有化学物質に関する追記事項
2.00	可塑剤	外装	0.00008	○○○○○

③　調査単位当たりの化合物含有量(mg)の入力：（必須）

- 予め記載されている CAS 番号の化合物含有量を mg 単位、有効数字 2 桁（3 桁目は四捨五入）で入力して下さい。
- 含有量の小数点以下の入力値の表示は 2 桁までです。
- 金属化合物の場合でも金属換算せずに、その化合物の含有量を入力して下さい。
- 予め記載されている CAS 番号の化合物の含有量の合計は、該当する物質群の第二階層の総含有量と同じ値として下さい。

④　使用用途・目的：（必須）

- 予め記載されている CAS 番号の化合物を使用した意図を簡単に記入して下さい。入力出来る文字数は、全角で 60 文字まで、半角英数字は 120 文字までです。

⑤　使用部位：（必須）

- 予め記載されている CAS 番号の化合物が含有している部位を入力して下さい。
  入力出来る文字数は、全角で 60 文字まで、半角英数字は 120 文字までです。

注）：含有判定が Y の物質群の場合、各 CAS 番号の行について、上記の②、③、④の 3 項目全ての入力が必須です。（エラーチェック 2 の対象です。）

⑥　調査単位あたりの重量濃度(%)：

- 予め記載されている CAS 番号の調査単位あたりの重量濃度は、化合物含有量の入力数値を基に、自動計算され自動表示されます。ただし、第一階層の調査単位質量が入力されている事が条件です。

注）：第三階層から第一階層に戻り、該当する調査対象アイテムの調査単位質量の入力を変更した場合には、SAVE JGP の際に、最新の調査単位質量に基づき、調査単位あたりの重量濃度の再計算が行われます。

⑦　含有化学物質に関する追記事項：（任意）

- 該当する CAS 番号の化合物に関する追加の情報があれば入力して下さい。
  入力出来る文字数は、全角で 60 文字まで、半角英数字は 120 文字までです。

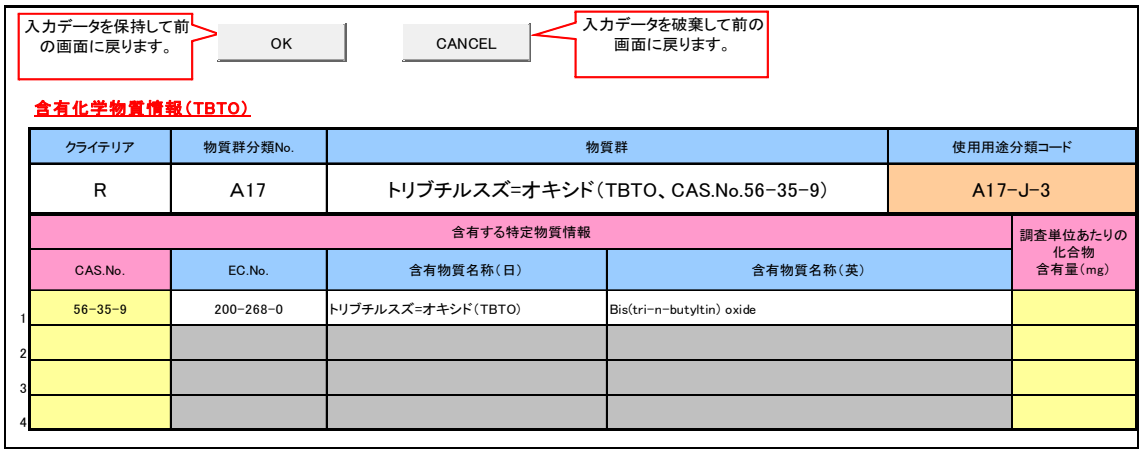
⑧　予め記載されていない CAS 番号の入力について：（任意）

- 第三階層の各物質群に予め記載されている CAS 番号は代表的なものです。これら以外にも該当する物質があれば、その CAS 番号を最大で 3 物質まで入力できます。
- 追加で入力した CAS 番号についての上記の③、④、⑤の入力は任意です。
- 調査単位あたりの重量濃度(%)は同じく自動計算されて自動表示されます。

注 1）：追加で入力した CAS 番号について、EC 番号および含有物質名称（日／英）の入力は出来ません。

注 2）：追加で CAS 番号を入力した行の各項目は、エラーチェック 2 の対象外です。
ただし、JGP ファイルに対象の行のデータが保存される条件は上記の③、④、⑤の 3 項目のデータが全て入力されている事です。

⑨　〔OK〕ボタンと〔CANCEL〕ボタン（第二階層に戻る）:



- 画面の上部にある〔OK〕ボタンをクリックすると第二階層に戻ります。（入力されたデータは保持された状態で戻ります。）

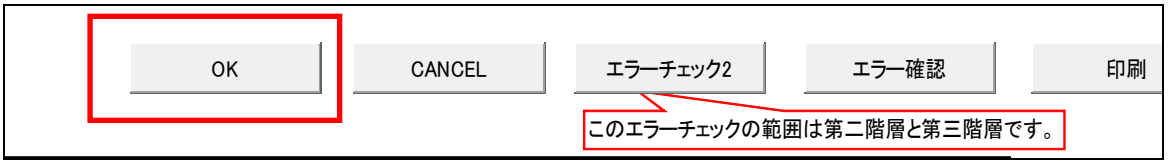
  注 1）: この時、入力データを保持して第二階層に戻りますが、このデータが無条件で JGP ファイルに保存されると言う事ではありません。

  注 2) : 第三階層にはエラーチェックボタンはありません。第三階層の入力データのエラーチェックは、第二階層のエラーチェック 2 に含まれます。詳細は、8.3 項を参照してください。

- 〔CANCEL〕ボタンをクリックすると、第三階層で入力したデータが廃棄され第二階層に戻ります。

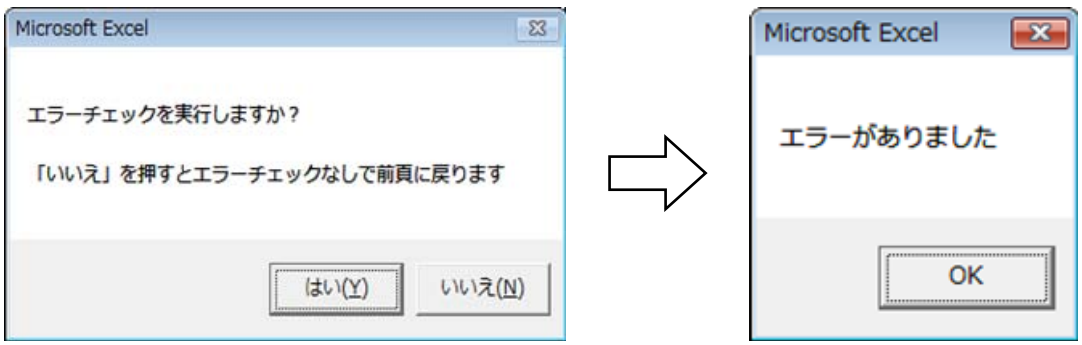
6.6　エラーチェック 2 の実行（チェックの範囲は第二階層および第三階層のデータ）:

- 第二階層の 32 物質群全て、および第三階層について必要事項の入力が終了したら画面の上部にある〔**OK**〕ボタンをクリックして下さい。



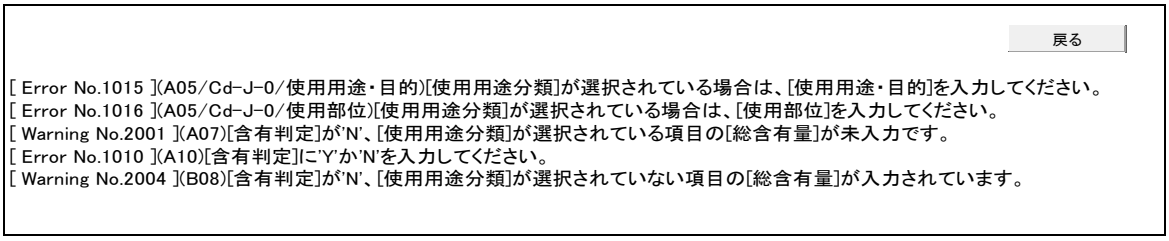
- 以下の図の様にエラーチェックを実行するかどうかの質問があります。
〔**はい**〕をクリックするとエラーチェックが実行されます。〔**いいえ**〕をクリックするとエラーチェックなしで第一階層に戻ります。

  注）: 最終回答作成の場合は必ず〔**はい**〕で、エラーチェックを実行して下さい。



注）：エラーチェック 2 は〔エラーチェック 2 ボタン〕をクリックしても実行できます。

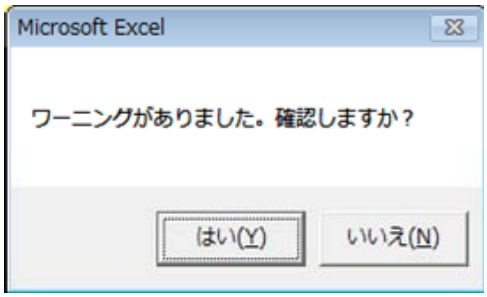
- エラーがあると、上図の様に「エラーがありました」が表示されます。
- 〔**OK**〕をクリックするとエラーチェックを実行した結果の、エラーまたはワーニングの内容が表示されます。以下はエラーチェックの結果の表示例です。入力が必須の項目にデータが無い場合などはエラー（Error）内容を表示します。ワーニング（Warning）は注意を呼びかける内容です。



- 〔**戻る**〕のボタンをクリックすると元画面に戻ります。エラー（Error）の内容を修正して再度エラーチェックを実行して下さい。

  注）：エラーチェックの内容および注意事項は、8. エラーチェック関連ボタンの機能、を参照して下さい。

- エラーチェックの結果、エラー（Error）およびワーニング（Warning）が何も検出されなかった場合には、自動的に第一階層の画面に戻ります。
- エラーチェックの結果でワーニング（Warning）のみが検出された場合は以下の表示が出ます。ワーニングの内容を確認したい場合は、〔**はい**〕をクリックするとワーニング内容が表示されます。〔**いいえ**〕をクリックすると、ワーニングで表示されている入力データの状態で、第一階層の画面に戻ります。



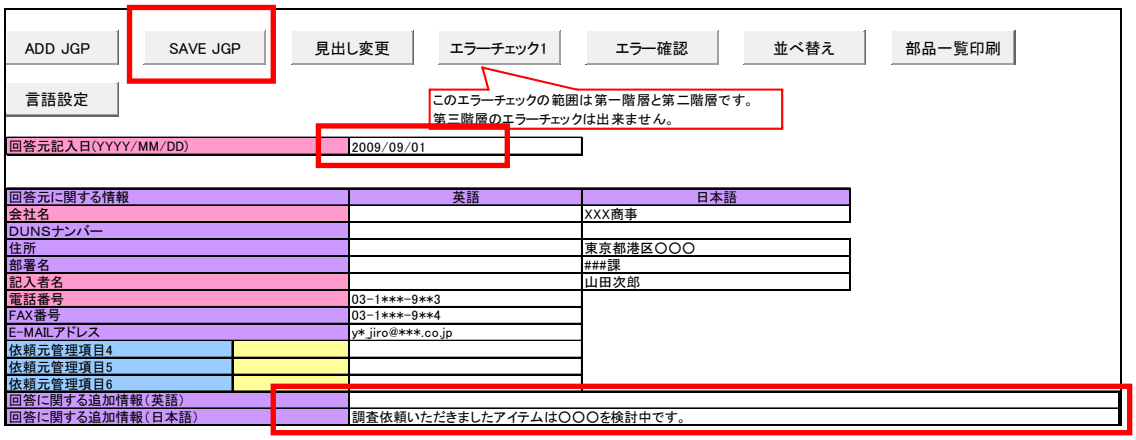
6.7 入力した内容の調査回答フォーマットへの保存（SAVE JGP）：

① 第二階層の画面のエラーチェック結果で問題がなければ第一階層の画面に戻り、「含有総合判定」の欄に Y または N が自動的に表示されます。

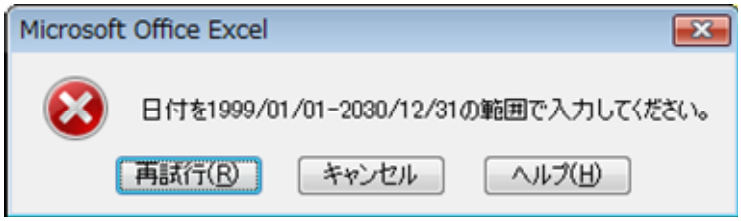
調査対象アイテムについて、32 物質群の含有判定で、Y が 1 つ以上あれば含有総合判定は Y が自動表示されます。32 物質群全ての含有判定が N の場合にのみ、含有総合判定に N が表示されます。（画面上の吹き出し、および下図表示例参照）

調査単位	調査単位質量（g/調査単位）	含有総合判定	化学物質情報入力	化学物質データコピー	化学物質データ消去
piece	2500.000	N	Input	Copy	Clear
			Input	Copy	Clear
			Input	Copy	Clear
			Input	Copy	Clear

② 回答元に関する情報の一番下にある「回答に関する追加情報」に、必要であれば回答全般に関するコメントなどを入力して下さい。（下図の画面表示例参照）
入力出来る文字数は、全角で 100 文字まで、半角英数字は 200 文字までです。

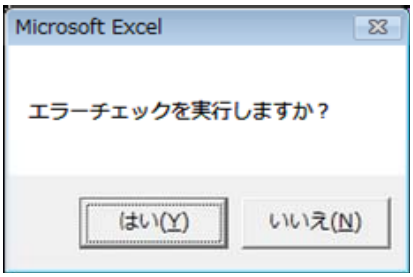


③ 回答元記入日が入力されているか確認して下さい。入力必須項目です。
年月日は、必ず、YYYY/MM/DD の形式で入力して下さい。（上図参照）
入力データが正しくない場合には下記が表示されますので〔**再試行**〕をクリックし、入力データを訂正して下さい。［キヤンセル］をクリックすると入力した日付が削除されます。



④ 画面上部の〔**SAVE JGP**〕ボタンをクリックすると、エラーチェックを実行するかどうかの表示が出ますので、〔**はい**〕をクリックして下さい。（下図参照）
このエラーチェックでは第一階層および第二階層の両画面のチェックを行います。

注 1）：この時、第三階層の入力データのエラーチェックは実行されません。



注 2）：エラーチェックを実行しないで SAVE JGP を行う場合には、JGP ファイルの出力条件を確認して下さい。詳しくは 8 ページの 5.2 の注）を参照。

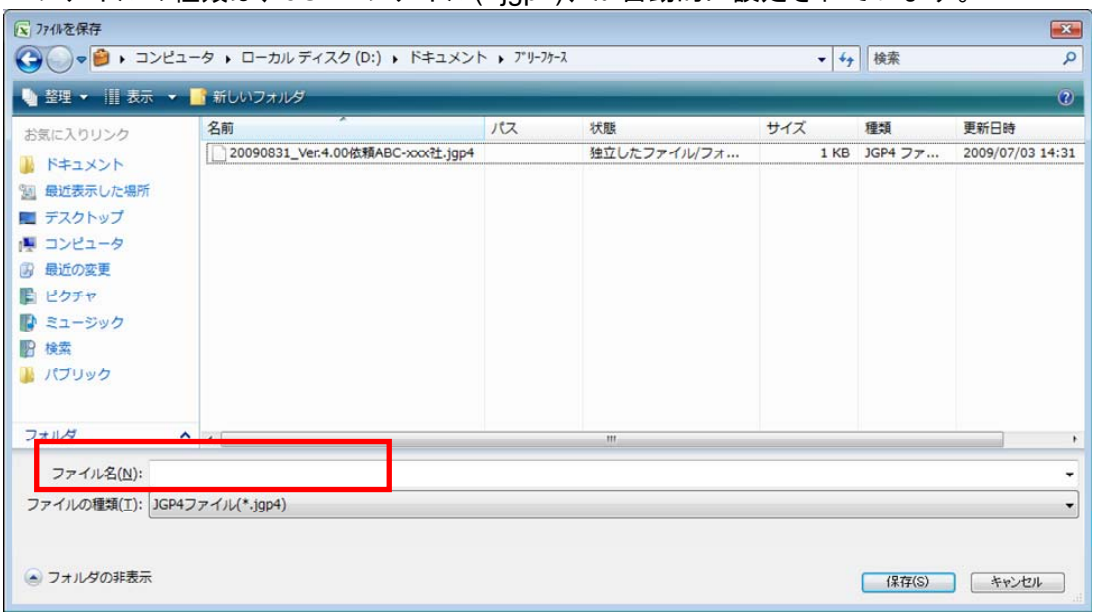
注 3）：第一階層と第二階層のエラーチェクは、〔エラーチェック 1〕のボタンでも行えます。

⑤ エラーチェックで問題がなければ保存するファイルを指定する画面（ファイルを保存）が出ます。（下図参照）。

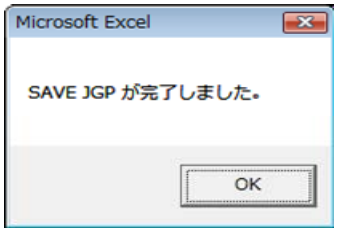
注）：エラーがあった場合にはエラー内容を修正し、再び〔**SAVE JGP**〕をクリックして下さい。

- 保存するフォルダを選び、ファイル名に保存するファイルの名称を入力し、〔**保存**〕をクリックして下さい。（下図例参照）

- ファイルの種類は、JGP4 ファイル(*.jgp4)、が自動的に設定されています。

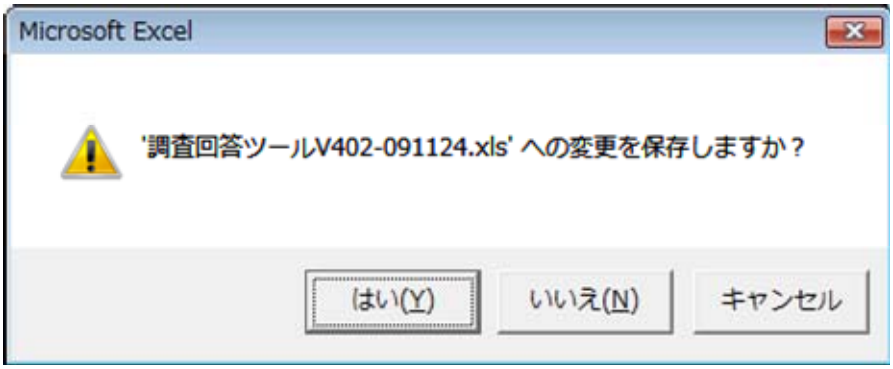


- 下図が表示されたら〔**OK**〕をクリックして下さい。これで JGP ファイルの保存が完了です。



6.8　調査回答ツールの終了：

- エクセル画面の右上の**X**ボタンなどをクリックし、ツールを閉じて下さい。
  以下の画面が表示されたら、必要に応じて〔**はい**〕もしくは〔**いいえ**〕をクリックして下さい。



6.9　JGP ファイルを依頼元へ送る：

- 回答データが入力された JGP ファイルを、電子メール等により依頼元へ送ります。

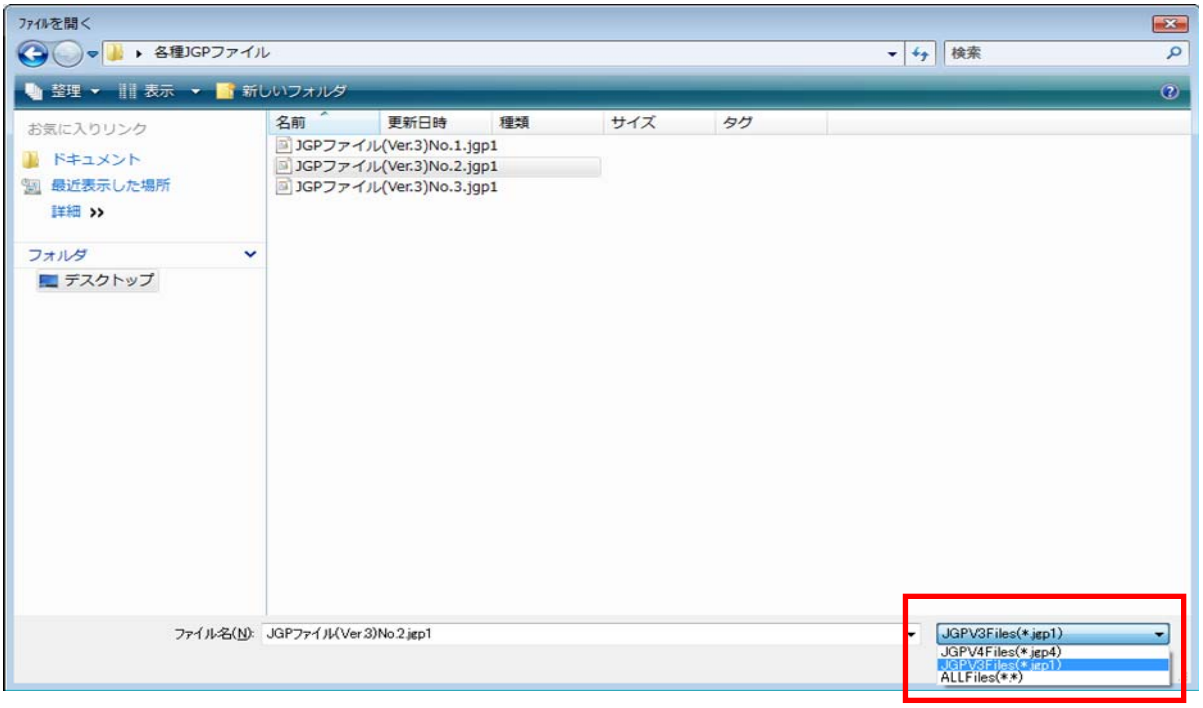
  注）：原則として依頼元と回答元のデータ交換は JGP ファイルを使用して下さい。

7. 旧フォーマットデータ（Ver.3 の JGP ファイル）の読み込み

- Ver.4 ツールは、Ver3 調査回答ツール（標準型）で作成された JGP ファイルのデータを読み込む事が出来ます（読み込みデータの制限あり。以下の注 3 を参照）。

- 〔**LOAD JGP**〕をクリックすると下図の「ファイルを開く」の画面が表示されます。
ファイルの種類で、JGPV3Files(*jgp1)ファイルを選択します。 次にフォルダから拡張子 jgp1 のファイルを選択し〔**開く**〕をクリックして下さい。

  注）：対象となる JGP ファイルは、Ver.3 ツール（標準型）の各種のバージョンで作成された JGP1 ファイルのみです。



- 下図が表示されます。〔**OK**〕ボタンをクリックして下さい。
Ver.3 の JGP ファイルのデータが読み込まれます。

  注 1）：Ver.3 の JGP ファイルを読み込むと、含有総合判定の欄は自動的に空欄（ブランク）に設定されます。これは、Ver.3 では無かった、Ver.4 の 32 物質群の含有判定の一部が空欄となり、Ver.3 で入力されていた含有総合判定の結果は不完全な状態となるためです。

  注 2）：下図の表示画面で記載されている様に、読み込めるデータには制限があります。

注 3)：＜読み込めるデータの制限について＞：

- JIG-101 Ed 2.0 で追加された物質群のデータは空欄になります。
- JIG-101 Ed 2.0 で削除された物質群（JIG-101A の別表 B：レベル B の一部）のデータは読み込みません。
- Ver.4 ツールに記載されている使用用途分類と同じコードの Ver.3 の使用用途分類と、それに関連するデータを読み込ます。ただし、オゾン層破壊物質の C04-J-98 は Ver.4 と Ver.3 で共通のコードですが、閾値レベルが異なるため読み込ません。

8. エラーチェック関連ボタンの機能

8.1 エラーチェック 1（第一階層のボタン）：

① エラーチェックの対象範囲：

- 第一階層と第二階層の両方の各データのチェックを行います。第三階層のチェックは出来ませんのでご注意下さい。
- 第一階層の［OK］ボタンによるエラーチェック実行の内容も同様の範囲です。

② 第一階層のデータのチェック内容：（別表 1.参照）

1) 必須チェック：
以下の項目の内容が長さ 0（ゼロ）の文字列であった場合、エラーチェック 1 ボタンの押下げ時のチェック実行でエラーとなります。
「回答元記入日、会社名英語または会社名のいずれか一方、回答元の記入者名または記入者名のいずれか一方、メーカー名、製品/部品/材料番号（回答元）、調査単位、調査単位質量(ｇ/調査単位)、含有総合判定。」

2) 日付チェック：
依頼元記入日、回答元記入日および改訂日の入力形式が YYYY/MM/DD である事と、一定の期間内であることを、入力時またはエラーチェック 1 ボタン押下げ時にチェックし、正しくない場合はエラーとなります。

3) 数値チェック：
板厚(mm)、径(mm)、改訂日および調査単位質量(ｇ/調査単位) のデータが、数値でない場合、入力時またはエラーチェック 1 ボタン押下げ時の実行でエラーとなります。

4) 全角チェック：
対象の項目のデータが全角文字を含む場合、入力時またはエラーチェック 1 ボタン押下げ時のチェック実行でエラーとなります。
（対象の項目の詳細は、別表 1.参照）

5) データ長（桁数）チェック：
対象の項目のデータが、指定されたバイト数を超える場合、一部の項目（以下の注参照）は入力時またはエラーチェック 1 ボタンの押下げ時の実行で不正となります。
（対象の項目の詳細は、別表 1.参照）

注）：DUNS ナンバー（依頼元、回答元）、住所英語（回答元）、依頼元の製品/部品番号および製品/部品/材料名称（回答元）は入力時にもエラーとなります。

6) データの値の妥当性チェック：
以下の項目のデータが、「妥当性チェックの内容」に反する場合は、データ入力時またはエラーチェックボタン 1 の押下げ時の実行で不正となります。
各項目の「妥当性チェックの内容」は、以下の（　）内です。

「依頼元記入日（1999/01/01～2030/12/31）、E-MAIL アドレス（@の存在）、回答元記入日（1999/01/01～2030/12/31）、径（0 以上 9999999999 以下）、改訂日（1999/01/01～2030/12/31）、調査単位（空欄/peace/g/kg/mm/m/cm2/m2/cc/liter/m3）、含有総合判定（Y、N）」

注）: E-MAIL アドレス（@の存在）は、データ入力時には検出しません。

7) JGP ファイルの出力条件に関しての必須チェック：
「メーカー名」、「回答元の製品/部品/材料の番号」「依頼元の製品/部品番号」、「材料グレード No.」、「金属記号・JIS 記号」、「メーカー着色 No.」、「板厚(mm)」、「色」、「径（mm）」のいずれかが入力されている行を出力します。
ただし、「メーカー名」および「依頼元の製品/部品/材料番号」以外の 7 項目は「エラーチェック 1」ボタン押下時に必須チェックは行ないません。

③ 第二階層のデータのチェック内容：（詳細は別表 2.または別表 4、別表 5 参照）

1) 必須チェック：
以下の項目の内容が長さ 0（ゼロ）の文字列であった場合、エラーチェック 1 ボタンの押下げ時のチェック実行でエラーとなります。

「閾値レベルによる含有判定（Y/N）、総含有量（mg）、使用用途・目的、使用部位および最大均質材料含有率（ppm）」

ただし、エラーとなる場合、各種の条件があります。以下の注）を参照下さい。

注 1）: 総含有量（mg）について、「含有判定」が「Y」に設定されている場合、「総含有量」は必須チェックを行います。また、「含有判定」の「Y]「N」に依らず、「総含有量」＞「調査単位質量（第一階層目）」の場合は、エラーとします。

注 2）: 使用用途・目的および使用部位について、「＊：該当用途」が設定（チェック）されている場合、「使用用途・目的」、「使用部位」は必須チェックを行います。

注 3）: 最大均質材料含有率（ppm）について、物質群分類 No が以下で「含有判定」が「Y」に設定されている場合、「最大均質材料含有率（ppm）」は必須チェックを行います。
対象の物質群分類 No：A05、A07、A09、A10、B02、B03、B13、B14、C10（ただし C10-J-0 のみ）

注 4）: 含有判定が N の場合の各項目のエラーとワーニングは以下で設定しています。

- 総含有量(mg)のみ入力あり：ワーニング（入力データは保存されます。）
- 使用用途分類のみ選択あり：エラー
- 使用用途・目的、使用部位、最大均質材料含有率（ppm）のみ入力あり：ワーニング（入力データは保存されます。）
- 使用用途分類の選択なしで、その他の項目の入力がある場合：ワーニング（総含有量(mg)および追記事項は保存されますが、他の入力項目のデータは保存されません。）

2) 数値チェック：
総含有量（mg）のデータが、数値でない場合、入力時またはエラーチェック 1 ボタン押下げ時の実行でエラーとなります。

3) 全角チェック：
総含有量（mg）のデータが全角文字を含む場合、入力時またはエラーチェック 1 ボタン押下げ時のチェック実行でエラーとなります。

4) データ長（桁数）チェック：
使用用途・目的、使用部位および、含有化学物質に関する追記事項のデータが、指定されたバイト数を超える場合、入力時またはエラーチェック 1 ボタンの押下げ時の実行で不正となります。（上記の各項目の制限桁数は、120 バイトです。）

5) データの値の妥当性チェック：
以下の項目のデータが、「妥当性チェックの内容」に反する場合は、データ入力時またはエラーチェックボタン 1 の押下げ時の実行で不正となります。
各項目の「妥当性チェックの内容」は、以下の（　）内です。

閾値レベルによる含有判定（Y,N）、総含有量（（0 以上 99999999999999900000 以下）、最大均質材料含有率（0 以上 99999999999999900000 以下）。

6) 各物質群の含有判定（Y/N）と選択されている使用用途分類との整合性チェック：
含有判定（Y/N）に対し、選択されている使用用途分類の整合性が取れていない場合には、エラーチェック 1 ボタン押下げ時のチェック実行でエラーとなります。（整合性チェックの詳細については、別表 4 および別表 5 を参照）

注）：以下の物質群の整合性チェクは対象外です。
B08：臭素系難燃剤（PBB 類、PBDE 類および HBCDD 除く）
C07：ホルムアルデヒド

8.2 エラー確認ボタン（第一階層のボタン）：

- エラーチェック 1 の結果内容を表示します。このボタンではエラーチェックの実行はせず、既に実行済みのエラーチェックの結果を表示します。

8.3 エラーチェック 2（第二階層のボタン）

① エラーチェックの対象範囲：

- 第二階層と第三階層の両方の各データのチェックを行います。
- 第二階層の［OK］ボタンによるエラーチェック実行の内容も同様の範囲です。

② 第二階層のデータのチェック内容：上記、8.1　③と同様です。

③ 第三階層のデータのチェック内容：（詳細は別表 3.参照）

1) 必須チェック：
デフォルトで CAS No.が記載されている行の調査単位あたりの化合物含有量（mg）、使用用途・目的、使用部位の 3 項目のどれかに、内容が長さ 0（ゼロ）の文字列であった場合、エラーチェック 2 ボタンの押下げ時のチェック実行でエラー又はワーニングとなります。

注 1）：上記のチェックの前提は、該当する第二階層の使用用途分類の（＊：該当用途）が選択（チェック）されている事です。

注 2）：第二階層の該当する物質群の含有判定が、Y の場合に選択する使用用途分類（A17-J-3、A17-J-4、A20-J-0、A21-J-0、B11-J-0、B09-J-1、B16-J-0、C09-J-0）から遷移する場合は、エラーとなります。

注 3）：第二階層の該当する物質群の含有判定が、N の場合に選択する使用用途分類（A17-J-98、A20-J-98、A21-J-98、B11-J-98、B09-J-98、B16-J-98、C09-J-98）から遷移する場合は、ワーニングとなります。

注 4）：第三階層の各 CAS 番号の行が JGP ファイルに出力される条件は、調査単位あたりの化合物含有量（mg）、使用用途・目的、使用部位の 3 項目全てにデータがある場合です。

注 5）：任意に入力する CAS 番号の行の各データは、エラーチェックの対象外です。ただし、JGP ファイルに対象の行のデータが保存される条件は、調査単位あたりの化合物含有量（mg）、使用用途・目的、使用部位の 3 項目のデータが全て入力されている事です。

2) 全角チェック：
調査単位あたりの化合物含有量（mg）のデータが全角文字を含む場合、エラーチェック 2 ボタン押下げ時のチェック実行でエラーとなります。

3) データ長（桁数）チェック：
使用用途・目的、使用部位および、含有化学物質に関する追記事項のデータが、指定されたバイト数を超える場合、エラーチェック 2 ボタンの押下げ時の実行で不正となります。（使用用途・目的の制限桁数は、120 バイトです。追記事項は 80 バイトです。）

4) データの値の妥当性チェック：
以下の項目のデータが、「妥当性チェックの内容」に反する場合は、エラーチェックボタン 2 の押下げ時の実行で不正となります。
各項目の「妥当性チェックの内容」は、以下の（　）内です。

「調査単位あたりの化合物含有量」（0 以上 99999999999999900000 以下）

5) 第二階層の総含有量と「調査単位あたりの化合物含有量」との一致チェック：
第二階層の「総含有量（mg）」と、第二階層と同じ物質群分類 No の.第三階層の対象の「調査単位あたりの化合物含有量（mg）」の合計値が異なる場合は、第二階層のエラーチェックでエラーとなります。

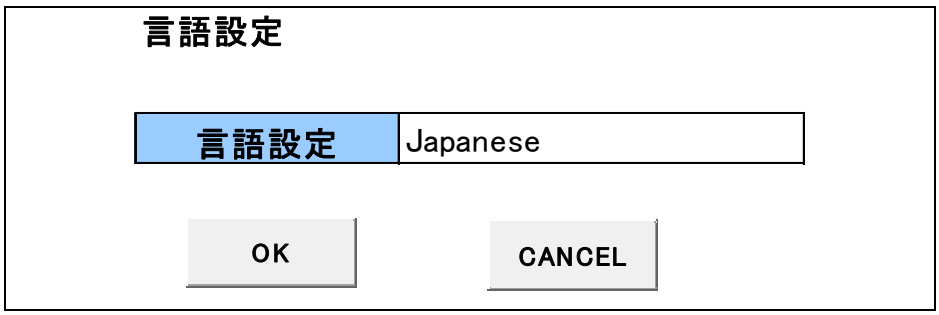
8.4 エラー確認（第二階層のボタン）

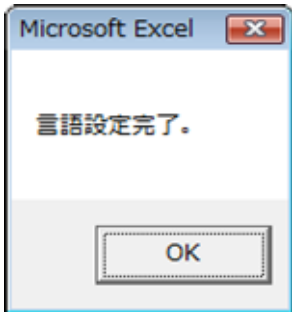
- エラーチェック 2 の結果内容を表示します。このボタンではエラーチェックの実行はせず、既に実行済みのエラーチェックの結果を表示します。

9. その他の各種ボタンの機能

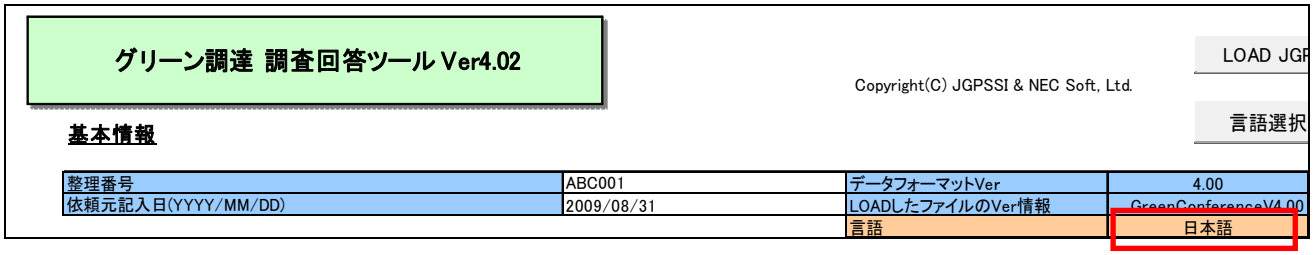
9.1 ［言語設定］

このボタンは Ver.4 ツールを起動した際に、毎回、同じ言語ツールを表示させたい場合に使います。例えば、常に日本語版ツールを使用したい場合には、言語設定のボタンをクリックし、下図の様に、言語設定のプルダウンメニューで「Japanese」を選択し OK をクリックします。すると「言語設定完了」の表示が出ますので OK ボタンをクリックし、第一階層の画面に戻ります。





次に、下図に様に第一階層画面の言語の欄に「日本語」が表示されます。この状態で Ver.4 ツールを、ファイル名を変えるなどして、保存して下さい。再度このツールを起動すると、言語選択の画面は表示されず、日本語版ツールが開きます。



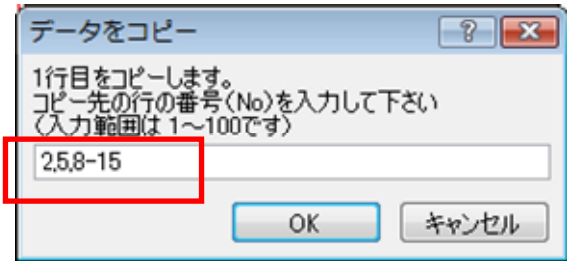
9.2〔**Copy**〕（下図参照）

Copy ボタンをクリックし、この行の対象アイテムの下位のデータ（第二階層の含有化学物質群情報および第三階層の含有化学物質情報）を他の行の対象アイテムにコピーする事ができます。

調査単位	調査単位質量（g/調査単位）	含有総合判定	化学物質情報入力	化学物質データコピー	化学物質データ消去
piece	2500.000	Y	Input	Copy	Clear
			Input	Copy	Clear
			Input	Copy	Clear

操作方法：
コピーしたいデータ行の〔**Copy**〕ボタンをクリックし、下図の例の様にコピー先の行番号を入力して〔**OK**〕をクリックして下さい。(1 行目の Copy ボタンの例)
コピー先の行番号は、個別行および連続行で指定する事が出来ます。個別行は半角カンマで区切り、連続行は半角ハイフンを入れます。

【下図は 2 行目、5 行目および 8 行目から 15 行目に同じデータをコピーする場合の入力例】

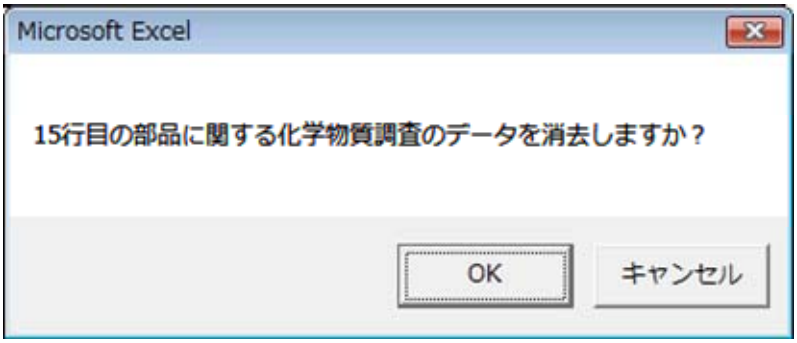


9.3〔**Clear**〕

Clear ボタンをクリックすると下記の表示が現れ、〔**OK**〕をクリックすると、この行の対象アイテムの下位のデータ（第二階層の含有化学物質群情報および第三階層の含有化学物質情報）を消去する事ができます。

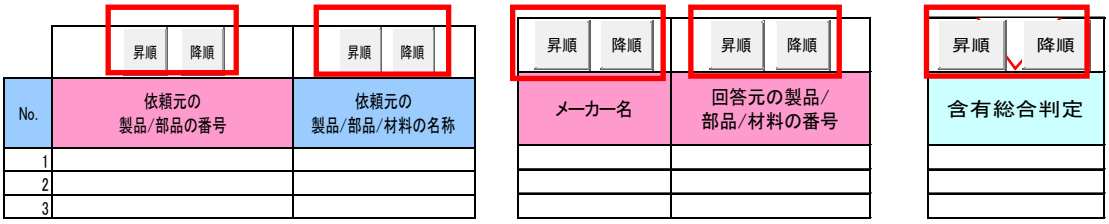
調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	含有総合判定	化学物質 情報入力	化学物質 データコピー	化学物質 データ消去
piece	2500.000	Y	Input	Copy	Clear
			Input	Copy	Clear
			Input	Copy	Clear

【下図は 15 行目のデータをクリアする例】



9.4〔**昇順**〕・〔**降順**〕(各調査対象アイテム、含有総合判定の並べ替え)

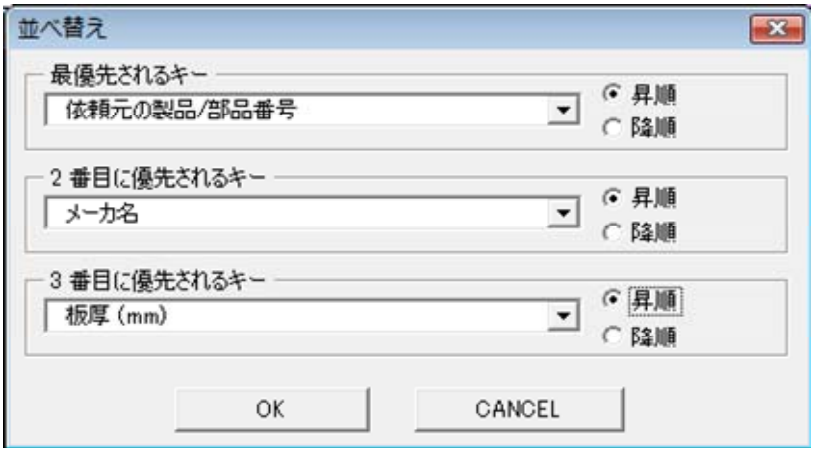
下図の様に、各項目の〔**昇順**〕・〔**降順**〕のボタンをクリックし並べ替えを行う事ができます



9.5 〔並べ替え〕

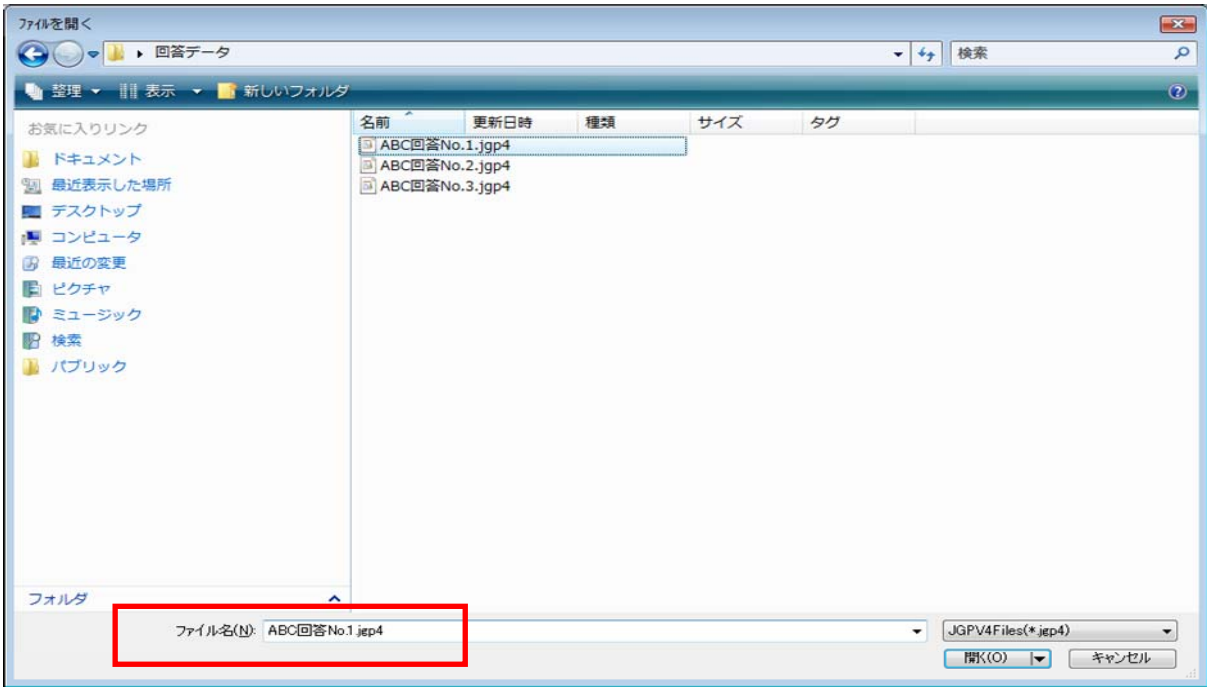
並べ替え画面を表示し、並べ替えを行います。
上記 9.4 の項目以外でも、調査対象アイテムなどの項目をキーにした並べ替えが出来ます。
下図の例の様に並べ替えのキーをプルダウンメニューから選択して下さい。三番目まで優先順位のキーを設定できます。昇順、降順も選択し〔**OK**〕をクリックして下さい。

【入力例】

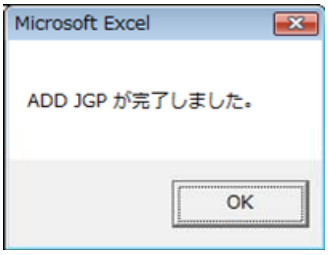


9.6〔ADD JGP〕

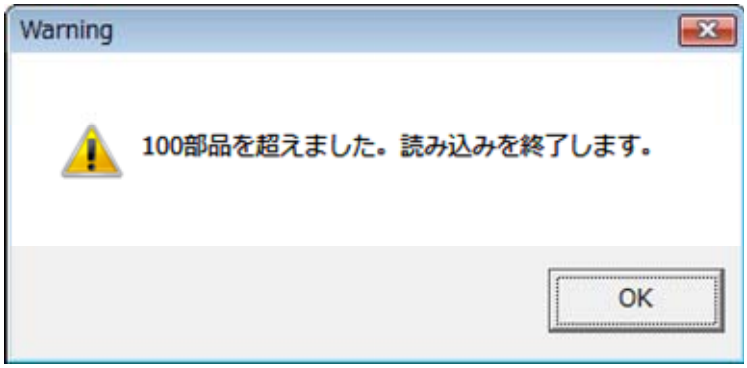
JGP ファイルの追加読み込みを行います。ファイルを開く、の画面より読み込む JGP ファイルを指定します。基本情報は読み込みません。
下図の例の様に、フォルダからファイル名を選択して〔**開く**〕をクリックします。



既に部品のデータがある場合、No.の最大の行の次の行から読み込みます。
読み込みが完了すると下図が表示されます。



注）： No.100 に入力データが存在する場合には、実行しません。下記が表示されます。
また、追加した合計点数が 100 を超えた場合は、100 点までのデータは読み込まれますが、残りのデータは無視されます。この場合も下記が表示されます。



9.7〔**見出し変更**〕

このボタンで下図の入力例の様に見出し変更の画面に切り替わり、項目見出し（依頼元管理項目、依頼元項目、回答元項目）を設定する事が出来ます。

各項目の使用方法は Ver.4 調査回答マニュアルの、５.調査項目、を参照下さい。

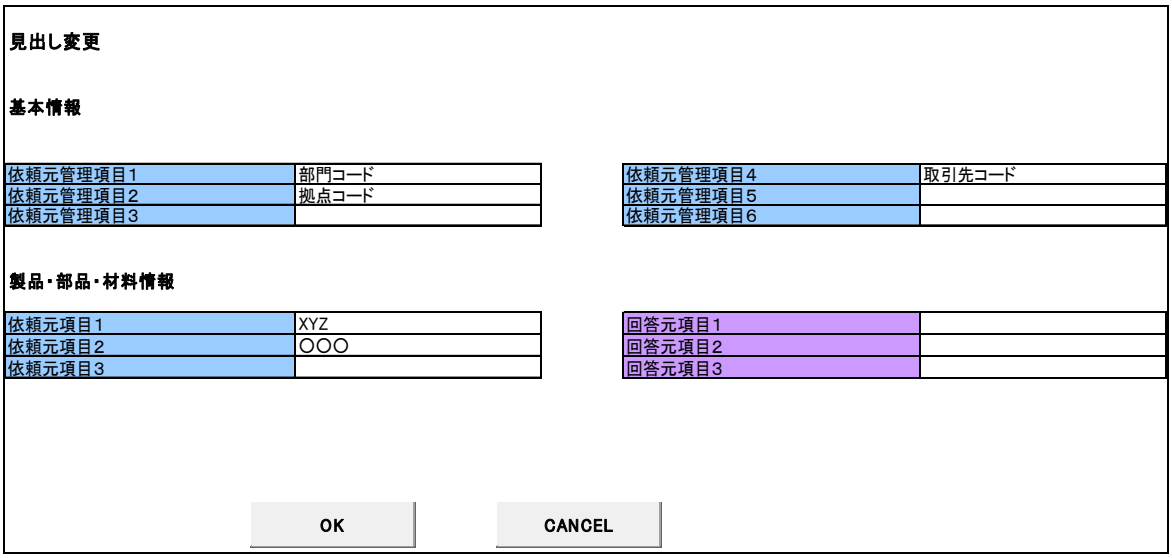
- 依頼元管理項目１～３は依頼元に関する追加情報を記載し、依頼元の設定に基づき使用します。
  それ以外の目的では使用しないで下さい。（使用例：部門コード、拠点コードなど）

- 依頼元管理項目４～６は依頼元で設定し、依頼元が回答元に関する情報を管理するために使用します。それ以外の目的では使用しないで下さい。（使用例：取引先名、取引先コードなど）

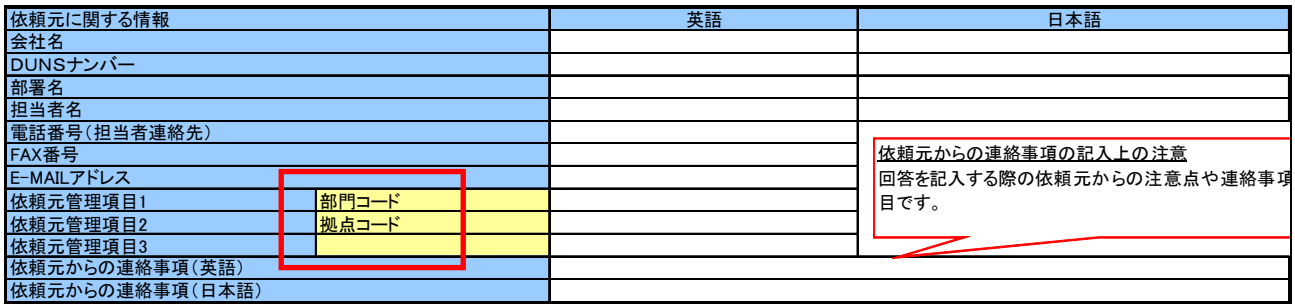
- 回答元項目１～３は回答元が使用します。（回答元のメモ）

注）：見出し変更画面で入力したデータは JGP ファイルには反映（保存）されません。
ただし、入力したデータはツールには保存され、入力した内容が画面で表示されます。
そのため、各依頼元毎のツールを別のファイル名に変えて保存しておくことをお勧めします。

【入力例】



【ツールの画面の表示例】（上記例の結果として部門コードと拠点コードが表示されています。）



9.8〔**部品一覧印刷**〕

基本情報がある画面のこのボタンをクリックすると、印刷プレビューを表示し印刷を行います。基本情報/製品・部品・材料情報を印刷します。

9.9〔**印刷**〕

含有化学物質情報の画面にあるこのボタンをクリックすると、印刷プレビューを表示し印刷を行います。表示している画面の含有化学物質情報を印刷します。

9.10〔**CANCEL**〕（第二階層画面）

第二階層に入力した内容を破棄して、第一階層の画面に戻ります。第一階層から第二階層に移った時点の内容に戻ります。

9.11〔**CANCEL**〕（第三階層画面）

第三階層に入力した内容を破棄して、第二階層の画面に戻ります。第二階層から第三階層に移った時点の内容に戻ります。

別表１．[エラーチェック 1]ボタンによる第一階層のデータのチェック内容

〇印は、データ入力時のチェック、◎印は「エラーチェックボタン 1」ボタン押下げ時などにおけるチェック。

注）:データの値の妥当性チェックに関しては、本文を参照下さい。

名称	チェック内容					
	必須	全角	数値	日付	桁数チェック	桁数
◆基本情報						
整理番号						40
依頼元記入日(YYYY/MM/DD)		〇◎		〇◎(YYYY/MM/DD)		
◆基本情報（依頼元に関する情報）						
会社名英語		〇◎			◎	200
会社名					◎	200
DUNSナンバー		〇◎			〇◎	9
部署名英語		〇◎			◎	200
部署名					◎	200
担当者名英語		〇◎			◎	200
担当者名					◎	40
電話番号（担当者連絡先）		〇◎			◎	100
FAX番号		〇◎			◎	100
E-MAILアドレス		〇◎			◎	100
依頼元管理項目1					◎	80
依頼元管理項目2					◎	80
依頼元管理項目3					◎	80
依頼元からの連絡事項（英語）		〇◎			◎	200
依頼元からの連絡事項（日本語）					◎	200
◆基本情報（回答元に関する情報）						
回答元記入日(YYYY/MM/DD)	◎	〇◎		〇◎(YYYY/MM/DD)		
会社名英語	◎いずれか一方	〇◎			◎	200
会社名					◎	200
DUNSナンバー		〇◎			〇◎	9
住所英語		〇◎			〇◎	200
住所					◎	200
部署名英語		〇◎			◎	200
部署名					◎	200
記入者名英語	◎いずれか一方	〇◎			◎	200
記入者名					◎	40
電話番号	◎	〇◎			◎	100
FAX番号		〇◎			◎	100
E-MAILアドレス		〇◎			◎	100
依頼元管理項目4					◎	80
依頼元管理項目5					◎	80
依頼元管理項目6					◎	80
回答に関する追加情報（英語）		〇◎			◎	200
回答に関する追加情報（日本語）					◎	200
◆部品単位行						
依頼元の製品/部品番号		〇◎			〇◎	200
依頼元の製品/部品/材料名称					◎	160
材料グレードNo.					◎	60
金属記号・JIS記号					◎	60
メーカー着色No.					◎	40
板厚(mm)		〇◎	〇◎			
色					◎	60
径（mm）		〇◎	〇◎			
依頼元項目１					◎	40
依頼元項目２					◎	40
依頼元項目３					◎	40
メーカー名	◎				◎	200
製品/部品/材料番号(回答元)	◎				〇◎	200
製品/部品/材料名称(回答元)					◎	160
回答元項目１					◎	200
回答元項目２					◎	200
回答元項目３					◎	200
データバージョン					◎	40
改訂日 YYYY/MM/DD		〇◎	〇◎	〇◎(YYYY/MM/DD)		
調査単位	◎					
調査単位質量（g/調査単位）	◎	〇◎	〇◎			
含有総合判定	◎					

別表2.［エラーチェック 1］または［エラーチェック 2］ボタンによる第二階層のデータのチェック内容

〇印は、データ入力時のチェック、◎印は「エラーチェック 1」または「エラーチェック 2」ボタン押下げ時などにおけるチェック。

注）：データの値の妥当性チェックに関しては、本文を参照下さい。

名称	チェック内容					
	必須	全角	数値	日付	桁数チェック	桁数
◆含有化学物質群情報						
閾値レベルによる含有判定（Y/N）	◎					
総含有量（mg）	◎	〇◎	〇◎			
使用用途・目的	◎				◎	120
使用部位	◎				◎	120
最大均質材料含有率（ppm）	◎					
含有化学物質に関する追記事項					◎	120

別表3.［エラーチェック 2］ボタンによる第三階層のデータのチェック内容

〇印は、データ入力時のチェック、◎印は「エラーチェックボタン 2」ボタン押下げ時などにおけるチェック。

注）：データの値の妥当性チェックに関しては、本文を参照下さい。

名称	チェック内容					
	必須	全角	数値	日付	桁数チェック	桁数
◆含有化学物質情報						
CAS.No.（デフォルト表示）	◎	〇			〇	20
CAS.No.（任意）					〇	20
調査単位あたりの化合物含有量（mg）	◎	〇				
使用用途・目的	◎				〇	120
使用部位	◎				〇	120
調査単位あたりの重量濃度（自動計算）（wt%）	◎					
含有化学物質に関する追記事項					〇	120

別表4. 含有判定(Y/N)と使用用途分類の整合性チェック一覧（4重金属の物質群）

＊1= 4重金属の物質群のチェック内容:

1）含有判定Yに該当する使用用途分類が、一つも選択されていない状態で含有判定Yが選択されている場合、エラーとする。同条件で含有判定Nが選択されている場合はエラーとしない。

2）含有判定Yに該当する使用用途分類が、一つでも選択されている状態で含有判定Nが選択されている場合、エラーとする。同条件で含有判定Yが選択されている場合にはエラーとしない。

エラーメッセージ: 含有判定(Y/N)と、選択されている使用用途分類の整合性が取れていません。

物質群	ラジオボタン	チェック内容	右に該当する含有判定	使用用途分類コード	使用用途分類
カドミウム/カドミウム化合物	–	＊1	Y	Cd-R-1	均質材料単位あたり100ppmを超える、ＥＵ指令76/769/EECの改正指令91/338/EECに基づき禁止された用途を除く電気接点とめっき中のカドミウム
				Cd-R-2	均質材料単位あたり100ppmを超えるカドミウムを含む光学ガラス及びフィルターガラス
				Cd-R-3	均質材料単位あたり100ppmを超えるカドミウムを含むホウケイ酸ガラスへのエナメル塗布用印刷インキ
				Cd-R-4	均質材料単位あたり100ppmを超える、音圧レベル100dB(A)以上の高耐入力スピーカの変換器のボイスコイルに直付けされる導電体の電気的/機械的なはんだ接合部分の合金中のカドミウム
				Cd-R-5	均質材料単位あたり100ppmを超える、プロ向け音響機器に適用される光カプラーのためのフォトレジスタ中のカドミウム、2009年12月31日まで
				Cd-R-6	均質材料単位あたり100ppmを超える、酸化ベリリウムと結合したアルミニウム上に使用される厚膜ペースト中のカドミウムおよび酸化カドミウム中のカドミウム
				Cd-E-2	均質材料単位あたり100ppmを超えるカドミウムを含む電気自動車のバッテリー
				Cd-B-1	電池重量あたり5ppmを超えるカドミウムを含有する電池
				Cd-J-0	特定用途を除く均質材料単位あたり100ppmを超えるカドミウムの意図的添加の含有がある場合(*右欄に詳細記入)
				Cd-J-99	不純物／リサイクル材料／コンタミネーションとして、均質材料単位あたり100ppmを超えるカドミウムの含有
			N	Cd-R-0	特定用途を除く均質材料単位あたり100ppm以下のカドミウムの意図的添加の含有がある場合(*右欄に詳細記入)
				Cd-RE-98	不純物／リサイクル材料／コンタミネーションとして、均質材料単位あたり100ppm以下のカドミウムの含有
六価クロム化合物	–	＊1	Y	Cr-R-1	均質材料単位あたり1000ppmを超える、吸収型冷蔵庫中のカーボン･スチール冷却システムの防錆用の六価クロム
				Cr-E-1	均質材料単位あたり1000ppmを超える六価クロムを含む防錆コーティング（下記Cr-E-2以外）
				Cr-E-2	均質材料単位あたり1000ppmを超える六価クロムを含む車体部ボルトナット組立て関係の防錆コーティング
				Cr-E-3	均質材料単位あたり1000ppmを超える六価クロムを含むキャラバン車の(吸着)冷蔵庫
				Cr-J-0	特定用途を除く均質材料単位あたり1000ppmを超える六価クロムの意図的添加の含有がある場合(*右欄に詳細記入)
				Cr-J-99	不純物／リサイクル材料／コンタミネーションとして、均質材料単位あたり1000ppmを超える六価クロムの含有
			N	Cr-R-0	特定用途を除く均質材料単位あたり1000ppm以下の六価クロムの意図的添加の含有がある場合(*右欄に詳細記入)
				Cr-RE-98	不純物／リサイクル材料／コンタミネーションとして、均質材料単位あたり1000ppm以下の六価クロムの含有
鉛/鉛化合物（続きあり）	–	＊1	Y	Pb-RE-1	均質材料単位あたり1000ppmを超える、CRT/電子部品/蛍光管に使用されるガラス中の鉛
				Pb-RE-2	均質材料単位あたり1000ppmを超える、電子セラミック部品中の鉛
				Pb-RE-3	均質材料単位あたり1000ppmを超えた、鋼材（亜鉛めっき、快削鋼を含む）中の0.35wt%以下の鉛の含有
				Pb-RE-4	均質材料単位あたり1000ppmを超えた、銅合金（真鍮、りん青銅等）中の4wt%以下の鉛の含有
				Pb-R-1	均質材料単位あたり1000ppmを超えた、アルミニウム材料中の0.4wt%以下の鉛の含有
				Pb-R-2	高融点はんだ中の鉛（85wt%を超える鉛を含む鉛合金）
				Pb-R-3	均質材料単位あたり1000ppmを超える、サーバー,ストレージ及びストレージ･アレイ･システム、交換、シグナリング、伝送及び通信ネットワーク管理のためのネットワーク・インフラ機器用のはんだ中の鉛
				Pb-R-4	均質材料単位あたり1000ppmを超える鉛を含むコンプライアントピン・コネクタ
				Pb-R-5	均質材料単位あたり1000ppmを超える鉛を含む熱伝導モジュールＣリング用コーティング材
				Pb-R-6	均質材料単位あたり1000ppmを超える鉛を含む光学ガラス及びフィルターガラス
				Pb-R-7	85wt%未満 80wt%を超える鉛を含むマイクロプロセッサのピンとパッケージ接合用の2種類を超える元素で構成されるはんだ
				Pb-R-8	均質材料単位あたり1000ppmを超える、Flip Chip ICパッケージ内で半導体のダイとキャリアー接合用のはんだ中の鉛
				Pb-R-9	均質材料単位あたり1000ppmを超える鉛を含む鉛青銅製の軸受胴とブッシング
				Pb-R-10	均質材料単位あたり1000ppmを超える、ケイ酸塩(silicate)がコーティングされたバルブを有する直線状白熱電球の鉛
				Pb-R-11	均質材料単位あたり1000ppmを超える、プロフェッショナル向け複写用途に使用される高輝度放電（HID）ランプ中の放射媒体としてのハロゲン化鉛
				Pb-R-12	均質材料単位あたり1000ppmを超える、BSP(BaSi2O5:Pb)等の蛍光体を含む日焼け用ランプとして、およびSMS((Sr,Ba)2MgSi2O7:Pb)等の蛍光体を含む、ジアゾ印刷複写、リソグラフィ、捕虫器、光化学、硬化処理用の専用ランプとして使用される放電ランプの蛍光体の付活剤としての鉛(重量比1%以下の鉛)
				Pb-R-13	均質材料単位あたり1000ppmを超える、非常にコンパクトな省エネルギーランプ(ESL)における、主アマルガムとしての特定の組成物PbBiSn-HgおよびPbInSn-Hg、ならびに補助アマルガムとしてのPbSn-Hgの鉛
				Pb-R-14	均質材料単位あたり1000ppmを超える、液晶ディスプレイ(LCD)に使用される平面蛍光ランプの前部および後部基板を接合するために使用されるガラスの中の鉛酸化物の鉛
				Pb-R-15	均質材料単位あたり1000ppmを超える鉛を含むホウケイ酸ガラスへのエナメル塗布用印刷インキ
				Pb-R-16	均質材料単位あたり1000ppmを超える、光ファイバー通信システムに使用されるRIG（希土類鉄ガーネット）ファラデー回転子に不純物として含まれる鉛、2009年12月31日まで

次ページに続く

物質群	ラジオボタン	チェック内容	右に該当する含有判定	使用用途分類コード	使用用途分類
鉛/鉛化合物（続き）	–	*1	Y	Pb-R-17	均質材料単位あたり1000ppmを超える、ピッチが0.65mm以下でNiFeリードフレームを持つコネクタ以外の微細ピッチコンポーネントの仕上げ処理が施された部位に含まれる鉛、また、ピッチが0.65mm以下で銅リードフレームを持つコネクタ以外の微細ピッチコンポーネントの仕上げ処理が施された部位に含まれる鉛
				Pb-R-18	均質材料単位あたり1000ppmを超える、機械加工通し穴付き円盤状および平面アレーセラミック多層コンデンサへのはんだ付け用はんだに含まれる鉛
				Pb-R-19	均質材料単位あたり1000ppmを超える、構造要素に用いられるプラズマ表示盤（PDP）および表面伝導電子エミッタ表示盤（SED）に含まれる酸化鉛。特に、前後ガラス誘電体層、バス電極、ブラックストライプ、アドレス電極、バリアリブ、シールフリット、フリットリング、およびプリントペーストに含まれる鉛酸化物の鉛
				Pb-R-20	均質材料単位あたり1000ppmを超える鉛を含むブラックライトブルー（BLB）ランプのガラス筐体に含まれる鉛酸化物
				Pb-R-21	均質材料単位あたり1000ppmを超える、高出力（125dB SPL以上の音響パワーレベルで数時間作動すると規定されている）スピーカに使用されるトランスデューサ用はんだとして用いられる鉛合金中の鉛
				Pb-R-22	均質材料単位あたり1000ppmを超える、理事会指令69/493/EECの付属書I（カテゴリ1、2、3および4）で定義されているクリスタルガラスに含まれる鉛
				Pb-R-23	均質材料単位あたり1000ppmを超える、水銀を含有しない薄型蛍光ランプ（たとえば、液晶ディスプレイや、デザイン用または工業用照明に用いられるもの）に使用されるはんだ材の中の鉛
				Pb-R-24	均質材料単位あたり1000ppmを超える、アルゴン・クリプトンレーザ管のウインドウ組立部品を形成するために用いられるシールフリット中の酸化鉛
				Pb-R-25	均質材料単位あたり1000ppmを超える、電力トランス中の、直径100 μm 以下の薄型銅線のはんだ用のはんだ中の鉛
				Pb-R-26	均質材料単位あたり1000ppmを超える、サーメットベースのトリマー電位差計の構成要素中の鉛
				Pb-R-27	均質材料単位あたり1000ppmを超える、亜鉛ホウ酸塩処理ガラス(zinc borat glass)体ベース上の高圧ダイオードのめっき層中の鉛
				Pb-E-1	機械加工目的のアルミニウム中の鉛 (0.4＜Pb≦1.5wt%)
				Pb-E-2	均質材料単位あたり1000ppmを超える鉛を含む機械加工目的のアルミニウム (Pb≦0.4wt%)
				Pb-E-3	均質材料単位あたり1000ppmを超える鉛を含むベアリングシェル/軸受(合金)
				Pb-E-4	均質材料単位あたり1000ppmを超える鉛を含むバッテリー
				Pb-E-5	均質材料単位あたり1000ppmを超える鉛を含む制振装置(バイブレーションダンパ)
				Pb-E-6	均質材料単位あたり1000ppmを超える、0.5wt%以下の流体ハンドリング・パワートレーン用エラストマーの加硫剤及び安定剤中の鉛
				Pb-E-7	均質材料単位あたり1000ppmを超える、0.5wt%以下のパワートレーン用エラストマーの接着剤中の鉛
				Pb-E-8	均質材料単位あたり1000ppmを超える鉛を含む電子基板及びその他の電気部品のはんだ
				Pb-E-10	均質材料単位あたり1000ppmを超える鉛を含むバルブシート
				Pb-E-11	均質材料単位あたり1000ppmを超える鉛を含む起爆剤
				Pb-J-1	均質材料単位あたり300ppmを超える、電線及びコード類の被覆中の鉛
				Pb-J-2	調査単位あたり300ppmを超える鉛を含む、12歳以下の子供用製品への使用
				Pb-J-3	おもちゃ用途の部品・材料で、塗装などの表面処理層単位あたり0.009%を超える鉛の含有
				Pb-B-1	電池重量あたり40ppmを超える鉛を含有する電池
				Pb-J-0	特定用途を除く均質材料単位あたり1000ppmを超える鉛の意図的添加の含有がある場合(*右欄に詳細記入)
				Pb-J-99	不純物／リサイクル材料／コンタミネーションとして、均質材料単位あたり1000ppmを超える鉛の含有
			N	Pb-R-0	特定用途を除く均質材料単位あたり1000ppm以下の鉛の意図的添加の含有がある場合(*右欄に詳細記入)
				Pb-RE-98	不純物／リサイクル材料／コンタミネーションとして、均質材料単位あたり1000ppm以下の鉛の含有
水銀/水銀化合物	–	*1	Y	Hg-R-1	水銀が1本あたり5mgを超えないコンパクト蛍光ランプ
				Hg-R-2	水銀が1本あたり以下の閾値を超えない一般照明用の直管形蛍光ランプ halophosphate（白色の蛍光体）：10mg triphosphate with normal lifetime（通常寿命を有する三波長蛍光体）：5mg triphosphate with long lifetime（長寿命を有する三波長蛍光体）：8mg
				Hg-R-3	均質材料単位あたり1000ppmを超える水銀を含む特殊用途用の直管形蛍光ランプ
				Hg-R-4	均質材料単位あたり1000ppmを超える水銀を含むRoHS指令2002/95/ECの附属書に特に定めていないその他のランプ
				Hg-R-5	ディスプレイあたり30mgまでの含有量のDCプラズマディスプレイ中の陰極スパッタリング反応抑制剤として使用される、均質材料単位あたり1000ppmを超える水銀、2010年7月1日まで
				Hg-E-1	均質材料単位あたり1000ppmを超える水銀を含むディスチャージランプ及び計器パネルディスプレイ
				Hg-B-1	電池重量あたり1ppmを超える水銀を含有する電池
				Hg-J-0	特定用途を除く均質材料単位あたり1000ppmを超える水銀の意図的添加の含有がある場合(*右欄に詳細記入)
				Hg-J-99	不純物／リサイクル材料／コンタミネーションとして、均質材料単位あたり1000ppmを超える水銀の含有
			N	Hg-R-0	特定用途を除く均質材料単位あたり1000ppm以下の水銀の意図的添加の含有がある場合(*右欄に詳細記入)
				Hg-RE-98	不純物／リサイクル材料／コンタミネーションとして、均質材料単位あたり1000ppm以下の水銀の含有

別表5. 含有判定(Y/N)と使用用途分類の整合性チェック一覧（4重金属以外の物質群）

ラジオボタン：〇=Ver4.00で設定　　*1= 4重金属のチェック内容（詳細は4重金属の物質群の表を参照）

◎=Ver4.01で追加　　*2= ラジオボタンのチェック内容（選択されている使用用途分類と相反する含有判定の場合はエラーとする。）

X＝Ver4.02でラジオボタンをチェックボックスに変更。

*3= 整合性チェックは対象外。（Ver4.02）

物質群	ラジオボタン	チェック内容	右に該当する含有判定	使用用途分類コード	使用用途分類
ニッケル	×	*2	Y	Ni-J-1	長期間皮膚に接触する用途で、意図的添加の含有がある場合
			N	Ni-J-98	Ni-J-1以外の含有がある場合
トリブチルスズ=オキシド（TBTO、CAS.No.56-35-9)	〇	*2	Y	A17-J-3	調査単位あたりの重量比が0.1%を超える含有がある場合
				A17-J-4	A17-J-3を除く意図的添加の含有がある場合
			N	A17-J-98	A17-J-3、A17-J-4以外の含有がある場合
一部のトリブチルスズ（TBT）及びトリフェニルスズ（TPT）	−	*1	Y	A18-J-3	意図的添加の含有がある場合
			N	A18-J-98	不純物の含有がある場合
酸化ベリリウム (CAS No. 1304-56-9)	◎	*2	Y	A19-J-0	調査単位あたりの重量比が0.1%を超える含有がある場合
			N	A19-J-98	調査単位あたりの重量比が0.1%以下の含有がある場合
五酸化二ヒ素 (CAS No. 1303-28-2)	〇	*2	Y	A20-J-0	調査単位あたりの重量比が0.1%を超える含有がある場合
			N	A20-J-98	調査単位あたりの重量比が0.1%以下の含有がある場合
三酸化二ヒ素 (CAS No. 1327-53-3)	〇	*2	Y	A21-J-0	調査単位あたりの重量比が0.1%を超える含有がある場合
			N	A21-J-98	調査単位あたりの重量比が0.1%以下の含有がある場合
ポリ臭化ビフェニル類（PBB類）	−	*1	Y	B02-J-0	均質材料単位あたり1000ppmを超えるPBBの意図的添加の含有がある場合(*右欄に詳細記入)
				B02-J-99	不純物／リサイクル材料／コンタミネーションとして、均質材料単位あたり1000ppmを超えるPBBの含有
			N	B02-R-0	均質材料単位あたり1000ppm以下のPBBの意図的添加の含有がある場合(*右欄に詳細記入)
				B02-R-98	不純物／リサイクル材料／コンタミネーションとして、均質材料単位あたり1000ppm以下のPBBの含有
ポリ臭化ジフェニルエーテル類（PBDE類）	−	*1	Y	B03-J-0	均質材料単位あたり1000ppmを超えるPBDEの意図的添加の含有がある場合(*右欄に詳細記入)
				B03-J-99	不純物／リサイクル材料／コンタミネーションとして、均質材料単位あたり1000ppmを超えるPBDEの含有
			N	B03-R-0	均質材料単位あたり1000ppm以下のPBDEの意図的添加の含有がある場合(*右欄に詳細記入)
				B03-R-98	不純物／リサイクル材料／コンタミネーションとして、均質材料単位あたり1000ppm以下のPBDEの含有
Deca-BDE（PBDE） (CAS No.11163-19-5)	×	*2	Y	B14-J-0	テレビ及びコンピュータの外装材に意図的に添加されている場合
			N	B14-J-98	B14-J-0以外の含有がある場合
ヘキサブロモシクロドデカン（HBCDD）<全ての主要ジアステレオ異性体を含む>(CAS No. 25637-99-4、CAS No. 3194-55-6) (JIG-101 Ed 2.0 別表B参照)	〇	*2	Y	B11-J-0	調査単位あたりの重量比が0.1%を超える含有がある場合
			N	B11-J-98	調査単位あたりの重量比が0.1%以下の含有がある場合
臭素系難燃剤（PBB類、PBDE類およびHBCDDを除く）	×	*3	Y	B08-J-1	調査単位あたりの重量比が0.1%を超える含有がある場合
			N	B08-J-98	調査単位あたりの重量比が0.1%以下の含有がある場合
ポリ塩化ビフェニル類（PCB類）及び特定代替物質（JIG-101 Ed 2.0の別表Bを参照）	−	*1	Y	B05-J-1	意図的添加の含有がある場合
			N	B05-J-98	不純物の含有がある場合
ポリ塩化ターフェニル類（PCT類）	−	*1	Y	B15-J-1	意図的添加の含有がある場合
			N	B15-J-98	不純物の含有がある場合
ポリ塩化ナフタレン（塩素数が3以上）	−	*1	Y	B06-J-1	意図的添加の含有がある場合
			N	B06-J-98	不純物の含有がある場合
短鎖型塩化パラフィン（炭素数10～13） (CAS No. 85535-84-8)	〇	*2	Y	B09-J-1	調査単位あたりの重量比が0.1%を超える含有がある場合
			N	B09-J-98	調査単位あたりの重量比が0.1%以下の含有がある場合
リン酸トリス(2-クロロエチル)（TCEP、CAS.No.115-96-8)	〇	*2	Y	B16-J-0	調査単位あたりの重量比が0.1%を超える含有がある場合
			N	B16-J-98	調査単位あたりの重量比が0.1%以下の含有がある場合
過塩素酸塩	◎	*2	Y	B12-J-0	調査単位あたりの重量比が6ppbを超える含有がある場合
			N	B12-J-98	調査単位あたりの重量比が6ppb以下の含有がある場合

次ページに続く

物質群	ラジオボタン	チェック内容	右に該当する含有判定	使用用途分類コード	使用用途分類
パーフルオロオクタンスルホン酸塩（PFOS）	－	＊1	Y	B13-J-0	フォトリソグラフィ・プロセスのためのフォトレジストまたは反ミラー・コーティング中に意図的に添加されたPFOS
				B13-J-1	フィルム、書類、または印刷版に使用される写真コーティング中に意図的に添加されたPFOS
				B13-J-2	クロムめっき、クロム酸化処理、リバースエッチングで使用するミスト抑制剤中に意図的に添加されたPFOS
				B13-J-3	無電解ニッケル-ポリテトラフルオロエチレン（ＰＴＦＥ）めっきで使用するミスト抑制剤中に意図的に添加されたPFOS
				B13-J-4	金属皮膜前のプラスチック基材のエッチングで使用するミスト抑制剤中に意図的に添加されたPFOS
				B13-J-5	物質、または調剤の構成成分として、B13-J-0,1,2,3,4の用途を除く0.005wt%以上のPFOSの意図的含有がある場合
				B13-J-6	成形品の含有成分として、B13-J-0,1,2,3,4の用途を除く均質材料単位あたり0.1wt%以上のPFOSの意図的含有がある場合、もしくはテキスタイルまたはその他の被覆された材料について、B13-J-0,1,2,3,4の用途を除く、被覆材の 1 μg/m2以上の量でPFOSの意図的含有がある場合
				B13-J-7	特定用途（B13-J-0,1,2,3,4,5,6）を除くPFOSの意図的含有がある場合
			N	B13-J-92	フォトリソグラフィ・プロセスのためのフォトレジストまたは反ミラー・コーティング中に不純物としてのPFOSの含有がある場合
				B13-J-93	フィルム、書類、または印刷版に使用される写真コーティング中に不純物としてのPFOSの含有がある場合
				B13-J-94	クロムめっき、クロム酸化処理、リバースエッチングで使用するミスト抑制剤中の不純物としてのPFOSの含有がある場合
				B13-J-95	無電解ニッケル-ポリテトラフルオロエチレン（ＰＴＦＥ）めっきで使用するミスト抑制剤中の不純物としてのPFOSの含有がある場合
				B13-J-96	金属皮膜前のプラスチック基材のエッチングで使用するミスト抑制剤中の不純物としてのPFOSの含有がある場合
				B13-J-97	物質、または調剤の構成成分として、B13-J-92,93,94,95,96の用途を除く0.005wt%以上の不純物としてのPFOSの含有がある場合
				B13-J-99	成形品の含有成分として、B13-J-92,93,94,95,96の用途を除く均質材料単位あたり0.1wt%以上のPFOSの不純物の含有がある場合、もしくはテキスタイルまたはその他の被覆された材料について、B13-J-92,93,94,95,96の用途を除く、被覆材の 1 μg/m2以上の量でPFOSの不純物の含有がある場合
				B13-J-98	特定用途（B13-J-92,93,94,95,96,97,99）を除くPFOSの不純物の含有がある場合
フッ素系温室効果ガス（HFC、PFC、SF6）	－	＊1	Y	B10-J-0	意図的添加の含有がある場合
			N	B10-J-98	不純物の含有がある場合
ポリ塩化ビニル（PVC）	◎	＊2	Y	B07-J-1	調査単位あたりの重量比が0.1%を超える含有がある場合
			N	B07-J-98	調査単位あたりの重量比が0.1%以下の含有がある場合
アスベスト類	－	＊1	Y	C01-J-1	意図的添加の含有がある場合
			N	C01-J-98	不純物の含有がある場合
一部の芳香族アミンを生成するアゾ染料・顔料	◎	＊2	Y	C02-J-2	重量比が0. 003%を超える特定の芳香族アミンを生成するアゾ染料・顔料を含有する皮革製品及び繊維製品の場合
			N	C02-J-98	C02-J-2以外の含有がある場合
オゾン層破壊物質	－	＊1	Y	C04-J-1	意図的添加の含有がある場合
			N	C04-J-98	不純物の含有がある場合
放射性物質	－	＊1	Y	C06-J-1	意図的添加の含有がある場合
			N	C06-J-98	不純物の含有がある場合
ホルムアルデヒド	－	＊3	Y	C07-J-0	重量比0.0075%を超える繊維製品への含有がある場合
				C07-J-1	意図的添加の含有がある場合（ただし、上記C07-J-0を除く）
			N	C07-J-98	不純物の含有がある場合（ただし、上記C07-J-0を除く）
フェノール、2-(2H-ベンゾトリアゾール-2-yl)-4,6-ビス(1,1-ジメチルエチル)(CAS No. 3846-71-7)	－	＊1	Y	C08-J-0	意図的添加の含有がある場合
			N	C08-J-98	不純物の含有がある場合
フタル酸エステル類 DEHP（CAS.No.117-81-7） DBP（CAS.No.84-74-2） BBP（CAS.No.85-68-7）	－	＊1	Y	C09-J-0	調査単位あたりの重量比が0.1%を超える含有がある場合
			N	C09-J-98	調査単位あたりの重量比が0.1%以下の含有がある場合
フタル酸エステル類 DINP(CAS No.28553-12-0, CAS No.68515-48-0) DIDP(CAS No.26761-40-0, CAS No. 68515-49-1) DNOP（CAS.No.117-84-0）	－	＊1	Y	C10-J-0	子供向け製品に使用されるアーティクルで、均質材料単位あたりの重量比が0.1%を超える含有がある場合
			N	C10-J-98	C10-J-0以外の含有がある場合

発行：グリーン調達調査共通化協議会

JGPSSI Ver4 調査回答ツール操作マニュアル 2009.11.25 第1.3版